

商工労働部 成果報告

商工労働部長 港 道 則 男

部局達成度

			
-	12	-	15
-	6	-	9 (うち観光文化局分)

総 括

商工業の振興では、市内商業施設や商店街等が協働で商圈の維持・拡大に取り組むため、「オールフクイ実行委員会」を設立し、スマートフォンアプリのオールフクイLINE@を通じて市内商業者の情報を消費者へ直接的かつ継続的に発信しました。

また、福井市企業立地戦略に基づき、積極的な企業訪問や東京事務所との連携による企業立地フェアへの出展などを通じて、本市の立地支援制度の周知に努め、企業の定着・誘致に取り組みました。更に、福井の食の普及・振興を図るため、物産展を拡充して開催したほか、国体・障スポの開催や北陸新幹線福井開業を控え、今後需要が見込まれるお土産について、前年度に引き続き新たに5品開発しました。

企業の労働力の確保に繋がるよう、学生やU・Iターンを希望する社会人等を対象に、福井で働く魅力を仕事と生活の両面から発信し、地元企業への就職を促進しました。また、若者や女性等が、能力を発揮し安心して働き続けられるよう、正規雇用化等のキャリア形成支援と職場環境の整備に取り組む企業への支援を行いました。

公営競技事業では場外発売の拡大に努力してきた結果、3月前半のF開催の売上が11億5千万円に上るなど営業成果を上げることができました。

観光振興では、コンベンションの誘致のため、県内外の主催団体などへの営業活動を行うとともに、県や他市町と開催助成金の拡充について協議を進めました。

一乗谷では、一乗谷朝倉特急バスを通年運行し二次交通の充実を図り、まちなかでは、観光ガイド付きのまち歩きツアーや、ふくい春まつりにあわせてハピリン一周年記念スペシャルパレードを実施しました。越前海岸では、水仙まつりを福井市、越前町、南越前町の3市町が連携して開催しました。情報発信では、福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」がゆるキャラグランプリ2017で8位となり、本市のイメージ向上につながりました。観光おもてなし市民運動では、観光おもてなしマイスターを新たに20人認定し、国際交流では、ニューブランズウィック市姉妹都市35周年記念事業として、行政訪問団・市民訪問団の派遣や市長訪問団の受け入れなどを行いました。インパウンドでは、フランスを新たなターゲットに加え、ジャパンエキスポ・パリに初出展しました。

文化振興では、市民の文化芸術活動を支援するとともに、文化会館の再整備に向けて基本計画を策定しました。

来年度は国体・障スポに合わせ自然史博物館にビジターセンターを整備し、足羽山の魅力を市民や観光客に発信していきます。東京オリンピック・パラリンピックや北陸新幹線福井開業に向けて引き続きまちなかの賑わいづくりをすすめるとともに観光誘客拡大に取り組んでいきます。

組織目標ごとの達成状況

・中小企業者や創業者への支援及び企業立地を推進し、地域の商工業の振興を図ります

商工業の振興では、市内商業施設や商店街等が協働で商圈の維持・拡大に取り組むため、「オールフクイ実行委員会」を設立し、スマートフォンアプリのオールフクイLINE@を通じて市内商業者の情報を消費者へ直接的かつ継続的に発信しました。

企業立地の推進では、福井市企業立地戦略に基づき、積極的な企業訪問や東京事務所との連携による企業立地フェアへの出展などを通じて、本市の立地支援制度や強みを発信するなど取組を進めた結果、企業立地支援指定数の目標を達成しました。来年度も、企業訪問による情報交換や担当者との関係強化を行い、また東京事務所と連携するなど、本市の強みを積極的に発信して、企業立地を進めていきます。

中小企業や創業者については、金融機関及び経済団体等との情報交換を行い、市内企業者の意見や情報を収集するとともに、関係機関と連携を図りながら支援を行いました。

また、国内外において、福井の食の普及、振興に取り組むとともに、福井しあわせ元気国体・障スポの開催や北陸新幹線福井開業を見据え、お土産品を開発しました。

経済状況は回復し、中小企業の活動も活発でしたが、ものづくり・販路開拓・人材育成・設備投資等への支援件数や市内創業者数等で目標に達することができませんでした。来年度は、生産性向上に向けた事業を重点的に支援するとともに、より多くの事業者の積極的な取組を支援していきます。

・中心市街地における商機能等を充実し、賑わいの創出を図ります

中心市街地では、北陸新幹線福井開業を見据えて、民間事業者が主体となった再開発事業等が進むとともに、飲食業を中心とした出店も多く見られるなど、まちの状況が変わりつつあります。

このような中、更なるまちの賑わいを創出するため、電車通りにおいてイベントを開催し、多くの集客を得ることができましたが、市民団体等によるイベント実施件数は目標を達成できませんでした。来年度は、新たにアップロードなどまちなかの公共空間を活用し、ハピリンや電車通りでのイベントと連携しながら、更なる賑わい創出とまちなか全体への波及を進めます。

リノベーションによるまちづくりでは、出店支援件数は目標を達成できませんでした。セミナーには多くの参加者があり、リノベーションへの意識を醸成することができました。来年度は、地域の価値向上を図るリノベーションまちづくりを推進するため、担い手育成と不動産所有者の意識改革を進めていきます。

・U・Iターン就職の促進や就労機会の創出を図るとともに、仕事と家庭が両立できる雇用環境づくりを推進します

U・Iターン就職を促進するため、学生やU・Iターン希望の社会人を対象に福井で働く魅力を仕事と生活の両面から発信しましたが、就職者数は目標に達しませんでした。事業参加者の市内企業への就職割合が高いことから、来年度は、就職支援サイト「ふくいおしごとネット」のリニューアル、インターネット広告の導入、就職支援協定等の活用により、募集広報を強化します。

また、就労機会を創出するため、奨励金等の交付のほか、就職支援のための相談会やセミナーを開催した結果、若者や女性の就職者数は目標を達成しました。しかし、労働者のうち非正規雇用が占める割合は依然として高いため、引き続き正規雇用化を進めていきます。

また、シルバー人材センターへの支援を通じて、高齢者に就業機会を提供した結果、センター会員の就業率は目標を達成しました。

また、ワークライフバランスの推進に取り組む企業の支援では、補助金等の交付のほか雇用管理セミナーを開催した結果、目標を達成しました。引き続き、働きやすい職場環境の整備の重要性について周知・啓発していきます。

・公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

今年度目標に掲げたF ナイター場外発売の拡充については、数値目標を15%上回る成果を達成しました。

また、年間を通しての車券売上は、7月に開催した開設67周年記念「不死鳥杯」(G)は全国的に記念競輪売上の減少傾向が続いたことで、目標には届きませんでした。それ以外のF・F競輪の車券売上も厳しい状況でしたが、場外発売の拡大に努力してきた結果、3月前半のF開催の売上が11億5千万円に上るなど営業成果を上げることができました。

来年度は、F開催の一部をミッドナイト借上げ開催に切り替えて収益向上を図るとともにナイター場外発売の拡充と場外発売営業強化を行い、新たな顧客の獲得に努めます。

今後とも、全国の施行者との連携をより一層密にして、場外発売の相互協力関係の充実に努めます。

<観光文化局担当>

・()食や自然・歴史など福井らしさで観光客を増やします

「福井市観光振興計画」及び「福井・永平寺周遊滞在型観光推進計画」に基づき、各種施策に取り組むとともに進捗管理を行いました。

コンベンションについては、県内外の主催団体や旅行会社、大学等への営業活動を行うとともに、県や他市町と開催助成金の拡充について協議を進めました。

観光地の磨き上げとして、一乗谷では、観光おもてなし事業の実施、越前朝倉糸桜まつりや越前朝倉戦国まつりなどへの支援のほか、引き続き一乗谷朝倉特急バスを通年運行し、JR福井駅からの二次交通の充実に努めました。

まちなかでは、「ふくい春まつり」「福井フェニックスまつり」など季節ごとのイベント開催やまち歩きガイドツアーの実施、旅行会社による新たなツアーの造成によりまちなかへの誘客に努めました。また、まちなか観光周遊バスについては、ラッピングや市内文化施設の特別展と連動した取組により、平均乗車人数が前年度を上回りました。

越前海岸では、ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場のリニューアルオープンや越前海岸盛り上げ隊が越前海岸ならではの素材を活かした地引網体験やたこかご漁等の体験イベントを開催したことで、新たな観光需要の掘り起こしにつながりました。また、今年度から水仙まつりを福井市、越前町、南越前町の3市町が連携して実施し、大都市圏での合同出向宣伝等を行い、越前海岸の魅力をアピールしました。

観光客入込数は目標に届きませんでした。今年度の福井国体・障スポ大会、32年の東京オリンピック・パラリンピック、さらに35年の北陸新幹線福井開業などの機会を捉え、戦略的なシティプロモーションに努め、通過型観光から交流滞在型観光への転換を図り、本市への観光誘客拡大を目指します。

・()福井の魅力を磨き、市民や観光客が福井の魅力にふれる機会を増やします

国体ブレ大会にあわせて、国体ボランティアやタクシー乗務員を対象とした、おもてなし講習会を開催しました。また、観光おもてなし市民運動の牽引役を担う「観光おもてなしマイスター」のスキルアップ研修を行うとともに、新たに20人を認定しました。今年9月から開催される福井国体・障スポ大会に向けて、今後もおもてなしの心の機運醸成に努めていきます。

美山森林温泉みらくる亭については、『ふくいの歴史・文化にふれあう旅の拠点・やすらぎ処』というコンセプトのもと大規模改修基本計画を策定しました。本基本計画に基づき、来年度に基本設計・実施設計を行い、31年度から改修工事を実施します。

。() 様々なツールによる情報発信を行い、福井の知名度やイメージの向上に努めます

情報発信としては、福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」が、ゆるキャラグランプリ 2017 で第 8 位を獲得したほか、「FUKUI CITY 2018 CALENDAR」が、第 69 回全国カレンダー展で日本製紙連合会賞及び銀賞を受賞しました。

また、観光パンフレットの配布や四季折々の福井を伝えるポスターを JR や高速道路 SA 等で掲出して、福井の魅力を全国に発信しました。

フィルムコミッションでは、全国ふるさと甲子園の参加や映画、CM 等の撮影に対する支援を行いました。

今後もさまざまな機会を捉え、本市の更なるイメージアップと知名度向上に努めます。

。() 多文化共生の地域づくりに取り組むとともに、インバウンド誘客の強化を図るための環境を整備し情報発信を進めます

姉妹都市からの国際文化交流大使を小学校や保育園等に派遣し、異文化理解に役立てるとともに、SNS を活用して、本市の魅力を積極的に発信しました。今後も、異文化理解講座を始め、地域活動への参加なども行いながら、多文化共生の地域づくりを進めるとともに、市の魅力発信に努めていきます。

インバウンドでは、台湾とタイをターゲットに、旅行博やイベントでの PR、営業活動などを行い、福井の知名度向上に取り組みました。また、訪日旅行を日本でコーディネートする観光事業者や現地メディアを本市に招へいするファミツアーを実施し、情報発信や旅行商品造成につなげる働きかけを行いました。

さらに、今年度からは、新たにフランスをターゲットに加え、ジャパンエキスポ・パリへの出展を行いました。今後も、現地の旅行博への出展や営業活動などを通して、本市の知名度向上や誘客拡大に努めます。

。() 文化芸術活動を支援するとともに、文化や歴史、自然を活用した観光誘客を進めます

文化芸術活動の振興のため、市文化協会主催の市民文化祭や童謡の日さわやかコンサートのほか、文化芸術・科学技術大会出場者への激励金交付など、市民が主体となって実施する文化芸術活動に対し支援しました。

また、文化会館の再整備に向け、平成 28 年度に策定した基本構想を基に、より具体的な検討を進め、建設予定地や施設規模、運営方針などを定めた基本計画を策定しました。

養浩館庭園では、魅力向上のためお茶席の開催やライトアップを実施し、入園者の利便性向上のため受付棟の庇改修工事を行いました。また、橘曙覧記念文学館、愛宕坂茶道美術館では記念特別展や企画展を、グリフィス記念館では絵本の朗読会や音楽会を開催しました。

観光と文化の連携強化として、秘仏や社寺を巡るツアーを実施したほか、博物館等の各施設合同による体験連携事業や企画展を開催し、体験型事業に力を入れ観光誘客に努めました。

自然史博物館では、足羽山をフィールドに郷土の自然に触れ学ぶ場として特別展や企画展、自然史講座等を開催するとともに、子どもたちを対象に福井の先端技術を学ぶ事業にも取り組みました。また、セーレンプラネットでは、特別展や企画展、ドームシアターなどで様々なイベントを開催するとともに、学校や旅行事業者などへの営業活動に取り組みました。美術館では、市美展ふくい、第 30 回記念として小さな作品を公募するなど新たな取組も行い、市民の文化芸術活動の支援に努めました。郷土歴史博物館では、企画展ギャラリートーク・収蔵資料数は目標を超えて達成し、市民の郷土福井への関心と興味を深めることや展示・活用できる貴重な収蔵資料の増加に寄与できました。

・中小企業者や創業者への支援及び企業立地を推進し、地域の商工業の振興を図ります

1	商業の振興	達成度	
実 行 内 容			
目 標	消費の県外流出を防ぐとともに、県外からの取込みを図るため、市内の商業施設や商店街など一貫して、オール福井体制で販売促進や集客力向上のための取組を実施し、市内商業者の商圏の維持と拡大に努めます。		
取 組 内 容	<p>平成 29 年度の取組に関する合意の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～9 月まで市内 10 商業者及び商工会議所で、商圏の維持・拡大に向けた取組を協議 ・ その結果、7 商業者（西武福井店、エルパ、ベル、パリオCITY、株式会社ヤスサキ、福井市商店街連合会、EKIMAE MALL）及び商工会議所で、10 月からオール福井体制での事業実施に合意(9/27) <p>平成 29 年度 第 1 回「オールフクイ実行委員会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実行委員会の設立及び取組内容を広く周知(10/24) <p>市内商業者による合同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オールフクイLINE@（登録した消費者に一齐に情報を発信できるスマートフォンアプリ）を活用し、市内商業者の情報をまとめた形で消費者に直接的かつ継続的に発信（10/24～） ・ 年末年始の市内消費喚起のため、新聞全面見開き広告を掲載(12/26) 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
市内商業者による合同事業の実施： 12 月までに		市内商業者による合同事業の実施： 10 月から	
成 果 ・ 課 題	<p>今年度は、市内商業施設や商店街等が協働で商圏の維持・拡大に取り組むため、「オールフクイ実行委員会」を設立しました。</p> <p>その具体的取組として、オールフクイLINE@及び新聞全面見開き広告により、市内商業店舗の充実した品揃え等をまとめて見せるというこれまでない形での情報発信を行いました。</p> <p>オールフクイLINE@については、これまでチラシやSNSを活用して周知と会員登録に努めてきましたが、各商業施設の店頭で来店者に登録を直接働きかける機会が無かったことや、登録により得られる情報や特典が十分に伝わっていないことから、会員数がまだ少ないという課題があります。（平成 30.3.31 時点で会員登録者数 1,243 人）</p> <p>オールフクイLINE@の情報発信力が十分に発揮されるためには、一定数以上（数千人程度）の会員登録があることが前提となることから、来年度は各商業施設の店頭での会員向け粗品プレゼント企画など、会員登録の動機付けとなる企画を毎月 1 回程度実施し、会員増加のペースが加速するよう支援していきます。</p>		

2	企業立地の推進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>福井市企業立地戦略に基づき、本市の産業の発展に資する効果的な企業立地施策に取り組みます。企業立地フェアにブースを設置するなど、東京事務所と連携し、県外企業に対し本市の支援制度や強みをアピールして企業誘致に努めるとともに、市内企業の規模拡大にも対応した企業立地を推進します。</p> <p>また、企業の状況を把握するため積極的に企業訪問を行い、支援の強化に努めます。</p>		
	取 組 内 容	<p>企業立地支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地支援指定数 13 社 ・空き工場、空きオフィスの登録促進 新規登録：空き工場：1 件 空きオフィス：9 件（4 棟） <p>企業立地戦略の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地フェアへの出展(5/24～26) ・FUKUI × IT セミナーでの誘致活動(8/23) ・関西機械要素技術展への出展(10/4～6) ・地域未来投資促進法に係る重点促進区域の設定(9/29 国の同意) <p>企業訪問等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外企業訪問数：50 社 ・県内企業訪問数：358 社 ・県外自動車関連産業、エレクトロニクス関連産業を中心とした立地意向アンケート調査を実施(585 社) 	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>企業立地支援指定数 ： 12 件（28 年度） 13 件（29 年度）</p> <p>企業の状況把握のための訪問数 ： 284 社（28 年度） 400 社（29 年度）</p>		<p>企業立地支援指定数 ： 13 件</p> <p>企業の状況把握のための訪問数 ： 408 社</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>積極的な企業訪問や東京事務所との連携による企業立地フェアへの出展などを通じて、本市の立地支援制度や強みを発信するなど取組を進めた結果、全ての目標を達成しました。</p> <p>来年度も、企業訪問による情報交換や担当者との関係強化を行いながら、東京事務所と連携した企業立地フェアへの参加など、本市の強みを積極的に発信して、企業立地に係る取組を進めていきます。</p>		

3	高付加価値のものづくり・販路開拓の支援	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>研究開発や販路開拓といった市内の中小企業者等が求める支援を行い、更なる事業の拡大を図ります。また、本市産業を牽引していくような事業に対しては、継続的に支援を行います。</p> <p>特に、本市の基幹産業である繊維産業については、国内外への販路開拓や、新分野展開・新製品開発等の取組に対して、重点的な支援を行います。</p> <p>また、市内企業の優れた製品や技術力を紹介するため立ち上げた「福井市ものづくり企業縁活サイト」については、対象業種の拡大を図り、積極的な活用を促進します。</p>		
取 組 内 容	<p>ものづくり・販路開拓・人材育成・設備投資等への支援件数：62件 [ものづくり：2件、販路開拓：31件、人材育成：9件、設備投資：15件、新事業創出：5件] 新事業創出支援件数：5件 ・新事業創出支援事業：4件 新規採択件数：1件（募集 4/3～6/30 応募 3件、7/28 選定委員会で採択決定） 継続支援件数：3件（平成 27 年度採択：2 件、28 年度採択：1 件） 継続を含めた採択事業 4 件について、11/20 及び 3/12 に選定評価委員会を開催し、それぞれ、中間評価及び年度末評価を実施</p> <p>・テキスタイルマテリアル・グローアッププロジェクト：1件 新規採択件数：1件 12/28 に第 1 回ネットワーク会議、3/28 の第 2 回で 29 年度報告及び来年度の事業計画を決定</p> <p>繊維関連販路開拓支援事業 ・国内の有力アパレルをターゲットにした展示商談会の開催支援 出展企業：9 社（2/22～23 開催（南青山 291）） 来展ブランド：18 ブランド</p> <p>・海外の大規模テキスタイル展「ミラノ・ウニカ」への出展支援 出展企業：3 社（2/6～8 開催（ミラノ）） 出展に向け、輸出実務やトレンドなどのセミナー開催や専門家によるアドバイスを実施</p> <p>ものづくり企業縁活サイト ・登録企業数：142 件 プロダクトデザインなどへの対象業種拡大、メール等で登録を働きかけ</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>ものづくり・販路開拓・人材育成設備投資等への支援件数 : 53 件（28 年度） 75 件（29 年度）</p> <p>新事業創出支援事業による支援件数(累計) : 3 件（28 年度） 4 件（29 年度）</p> <p>繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る商談成立件数：5 件</p> <p>ものづくり企業縁活サイト登録企業件数 : 137 件（28 年度） 200 件（29 年度）</p>	<p>ものづくり・販路開拓・人材育成設備投資等への支援件数 : 62 件</p> <p>新事業創出支援事業による支援件数(累計) : 5 件</p> <p>繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る商談成立件数：1 件</p> <p>ものづくり企業縁活サイト登録企業数 : 142 件</p>		
成 果 ・ 課 題	<p>ものづくり・販路開拓・人材育成・設備投資等への支援については、件数は目標を下回りましたが、特に要望が多い設備投資や商品デザインへの補助件数を増やすなど、市内中小企業者の前向きな取組に対してニーズに即した支援を行いました。来年度は、生産性向上に向けた事業を重点的に支援するとともに、より多くの事業者の積極的な取組を支援していきます。</p> <p>新事業創出支援事業については、テキスタイルマテリアル・グローアッププロジェクトによる新製品開発の支援を含め、新たに 2 件の支援を開始し、継続支援の 3 件と合わせ 5 件を支援しました。</p> <p>繊維関連販路開拓支援事業については、国内で 1 件の商談成立件数となりました。国内については、開催した展示会の反省を踏まえ、より商談に結びつく内容となるよう改善していきます。海外については、事前にアパレルとのコーディネーターや輸出取引に向けたセミナーを実施しました。取引が継続するよう、来年度も契約や取引のフォローアップを行っていきます。</p> <p>ものづくり企業縁活サイトについては、プロダクトデザインなど対象業種の拡大を図りました。また、産業展示会や補助金説明会において参加企業へ登録を呼びかけ、企業訪問時に登録を依頼しましたが、目標は達成できませんでした。来年度は、登録企業に対して有益な情報を発信し、サイト登録によるメリット増大を図り、登録企業数の増加に取り組みます。</p>		

4	起業者創出の促進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>本市における産業の活力を高めるため、企業の採用意欲が強い中でも、創業の動きを活性化していく必要があることから、福井市創業支援事業計画に基づき、認定連携創業支援事業者（福井商工会議所、NPO 法人アントレセンター）や市内金融機関等との連携を強化し、市内での創業者、特に女性起業家の増加を図ります。</p> <p>また、企業家精神の醸成を目的に開催している福井発ビジネスプランコンテストについて、応募プランの事業化への動きの活性化を支援していきます。</p> <p>さらに、近年問題になっている事業承継については、税理士等の専門家によるサポート体制の充実を図るとともに、企業訪問等を通じて対象の把握に努め、商工会議所が設置している専門機関等と適切に連携して支援していきます。</p>		
	取 組 内 容	<p>市内での創業者数：76 件 起業者支援セットメニュー利用者数：42 件（内、女性利用者 18 件） ビジネスプランコンテストの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会（5/29）、組織委員会（6/20） ・ビジネスプランの募集（6/20～10/20） 応募：87 件 ・ビジコン・ミーティング（内容：コンテスト説明会、プラン作成講座、交流会） （7/14、8/19、9/11、10/11） ・10/26、27 に北陸技術交流テクノフェアにてパネル展示 ・平成 30/2/17 最終選考会（ハピリンホール） グランプリ：2 件（一般の部：1 件、学生の部：1 件） <p>事業承継セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：A O S S A 6 階研修室 ・対象者：9/26 中小企業診断士、行政書士等の士業全般 参加者 70 人 10/3 税理士 参加者 80 人 	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>市内での創業者数 ： 92 人（28 年度） 100 人（29 年度） 女性起業家に対する財政支援件数 ： 29 件（28 年度） 30 件（29 年度） 事業承継相談件数： 5 件</p>		<p>市内での創業者数 ： 76 人 女性起業家に対する財政支援件数 ： 27 件 事業承継相談件数： 5 件</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>市内での創業者数及び女性起業家に対する財政支援件数については、景気の回復が続いており、創業に対して慎重な姿勢が見られ、目標を下回る結果となりました。来年度は、創業を支援する新事業の実施や福井市創業支援事業計画における関係機関との連携拡大を通じて、新規需要の創出が期待できる創業や成長志向の創業を重点的に支援し地域経済の発展を促進します。</p> <p>ビジネスプランコンテストは、学生の部の新設による応募数増加に加え、新規性や独自性が高い学生と経験豊富な社会人が交流することによる相乗効果が生まれ、創業に対する意識醸成につながりました。来年度は、国が実施する全国創業スクール選手権の連携コンテストとして広報を行うことで、更なる創業希望者・創業者の事業機会の拡大と機運の醸成を図ります。</p> <p>事業承継については、税理士などの専門家を対象としたセミナーを開催するとともに、県の事業承継ネットワークや事業引継ぎ支援センターとの連携を密にし、相談体制の充実を図るなど、事業承継の推進に向けた取組の充実に努めてまいります。</p>		

5	農商工連携の推進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>平成 28 年度に施行した「おいしいふくい条例」の普及や取組の啓発、「ふくいの恵み」認定商品の認知度向上を図るため、市内百貨店での「おいしいふくい大博覧会」や観光・農政部局と連携した県外での物産展の開催など、「ふくいの恵み」認定商品をはじめとした福井の食の普及、振興に取り組めます。</p> <p>また、県外での販路拡大を図るため、東京事務所と連携して県外の新たな取引先の獲得を目指します。</p> <p>さらに、福井国体開催や北陸新幹線福井開業などを控え、今後需要が見込まれる福井のお土産の開発について引き続き取り組みます。</p>		
取 組 内 容	<p>認定加工品の周知、販売促進を図るため、「ふくいの恵み博」から「おいしいふくい大博覧会」に名称を変更し、内容をさらに充実させて開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：西武福井店 6階催事場 ・開催期間：平成 29 年 5 月 31 日(水)～6 月 5 日(月) ・事業者数：31 社、売上額：16,229 千円 <p>併せて、西武福井店のお中元、お歳暮ギフトに「ふくいの恵み」セットを掲載</p> <p>展示商談会及び物産展への出展等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/21～7/23 台湾の高級スーパー裕毛屋 ・10/10～10/16 福福館 17 市町 P R コーナー ・11/8 しんきんビジネスフェア ・11/13 松屋銀座バイヤー来福（5 事業者を訪問） ・11/26 消費者まつり ・2/1 松屋銀座、日本橋三越へ物産展開催を要望 ・2/4 葛西臨海公園水仙まつり <p>おいしいふくい条例の P R</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/9 おいしいふくい条例 1 周年記念イベント（養浩館庭園） ・上記展示商談会及び物産展においておいしいふくい条例の P R <p>福井市お土産品の開発：5 品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集 6/1～6/23（応募：5 品） ・専門家とともに開発・改良支援 7 月～12 月 ・首都圏販売会によるモニタリング（アコメヤ銀座本店、新宿店、大宮店）1/19～2/2 ・福福館 17 市町 P R コーナーでの販売会 3/6～3/12 ・平成 28 年度開発の商品と合わせて、10 品を開発 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>市内百貨店での物産展の開催： 6 月 「ふくいの恵み」認定商品販売額 ： 214,812 千円（28 年度） 330,000 千円（29 年度） お土産の開発品数： 5 品</p>		<p>市内百貨店での物産展の開催： 6 月 「ふくいの恵み」認定商品販売額 ： 265,397 千円（見込） お土産の開発品数： 5 品</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>「ふくいの恵み」認定加工品などを一堂に集めた物産展については、これまでの「ふくいの恵み博」から「おいしいふくい大博覧会」に名称を変更し、市内百貨店において内容を充実させて開催しました。その結果、多くの来場者があり、前年を超える売上がありました。</p> <p>また、「福井の食の普及及び振興に関する条例（通称：おいしいふくい条例）」について、関連イベントの開催などを通じて、市民団体等や市内事業者に対し条例の普及を行いました。</p> <p>さらに、国体・障スポの開催や北陸新幹線福井開業を控え、今後需要が見込まれるお土産については、昨年に引き続き新たに 5 品を開発しました。来年度、イベント等で P R をするとともに、市職員の出張時の手土産として活用するなど、売上増につなげていきます。</p> <p>「ふくいの恵み」認定商品については、「おいしい福井大博覧会」やギフトセットの展開など販売強化に取り組み、対前年比で販売額が増となりましたが目標には届きませんでした。来年度は、「ふくいの恵み」の新規認定により品数を増やし、品目を充実させるとともに、「おいしいふくい大博覧会」や首都圏の百貨店において物産展などを通じて積極的に P R 活動を行うなど、福井の食の普及、振興に取り組んでいきます。</p>		

6	金融・経営支援の充実	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>金融機関に対し融資制度を周知することで利用促進に努めます。 また、金融機関等との情報交換により、中小企業を取り巻く環境や個別の経営動向を把握しながら、中小企業者が利用しやすいよう融資制度の充実を図ります。 さらに、中小企業者の経営改善を支援するため、経営専門指導員によるフォローアップや、関係機関と連携した経営力向上事業に継続して取り組みます。</p>		
取 組 内 容	<p>金融機関に対する融資制度説明会の開催 ・各支店等での説明会（3回） ・全金融機関総括部門への説明会（1回） ・取扱金融機関全支店対象の説明会（1回） 金融機関及び経済団体等との情報交換の実施 ・市内金融機関、支援機関、経済同友会等と情報交換を実施（29回） 中小企業者へのフォローアップの実施 ・経営専門指導員による経営フォローアップの実施（117件） ・経営相談窓口でのフォローアップの実施（23件） ・福井商工会議所による経営力向上サポート事業の実施等（20件）</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>金融機関に対する融資制度説明会の回数： 5回 金融機関及び経済団体等との情報交換回数 ： 24回（28年度） 25回（29年度） 中小企業者へのフォローアップ件数 ： 135件（28年度） 140件（29年度）</p>		<p>金融機関に対する融資制度説明会の回数： 5回 金融機関及び経済団体等との情報交換回数 ： 29回 中小企業者へのフォローアップ件数 ： 160件</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>取扱金融機関に対して説明会を実施し、融資制度の周知を図りました。 また、金融機関等との情報交換を通じて中小企業の経営環境や企業動向を把握し、融資制度の変更、相談業務等に活用しました。 来年度も引き続き、経営専門指導員等による中小企業者等へのフォローアップを実施することで市内事業者の経営改善を支援するとともに、制度融資の利用状況や経営相談内容等の情報整理・分析に努め、地域経済の動向を定期的に把握し、今後の産業振興政策の展開に活かしていきます。 なお、大雪による災害に際し、中小企業者への資金供給の円滑化を図るため、セーフティネット保証4号が発動され、本市においては、32件の認定を行いました。今後も中小企業者の経営環境の変化に合わせて、柔軟かつ迅速に対応していきます。</p>		

・中心市街地における商機能等を充実し、賑わいの創出を図ります

7	まちなかの様々な賑わいづくりによる魅力向上	達成度	
実行内容			
目標	<p>ハピリン・ハピテラスにおける集客を、アオッサから西武福井店を結ぶ賑わい軸全体へ効果的に波及させるため、電車通りにおいて路面電車を走行させながらイベントを開催し、エリア内の回遊性向上を図ります。</p> <p>また、民間が主体となるまちづくり活動を支援し、まちなかの多様な魅力向上を図ります。</p>		
取組内容	<p>まちフェスの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月26日(金) 駅前電車通りで、安全柵を設置するための路面工事を完了し、イベント広場として整備 ・6月3日(土) 4日(日) 花花フェスと題して全国花のまちづくり福井大会と同時開催(集客数 17,161人) ・7月2日(日) ワールドフェスと題して世界の食や文化が体験できる内容で開催(集客数 3,511人) ・9月10日(日) 綱引きや玉入れ、国体PR企画などまちなか運動会をテーマに開催(集客数 9,244人) ・10月1日(日) まちなかバーベキューやキャンプ体験などデイキャンプをテーマに開催(集客数 9,767人) <p>まちなか活性化交流イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催補助金の活用によるイベント実施6件(ナイトダンスフェス、商店街回遊企画、地酒フェス、ハロウィン仮装企画、夜市、ゴスペルコンサート) ・イベント開催補助金の活用を図るため、ふく+で説明会を実施(7/1、6) 内容：補助制度やまちなかのイベント空間、イベント開催者の体験談を紹介 参加者：13人 		
数値指標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>まちフェス集客数 ： 34,926人(28年度) 36,000人(29年度)</p>		<p>まちフェス集客数： 39,683人</p>	
<p>まちなか活性化交流イベント実施件数： 10件</p>		<p>まちなか活性化交流イベント実施件数： 6件</p>	
成果・課題	<p>まちフェスについては、まちなかを会場とした運動会やデイキャンプなど、イベントごとに明確なテーマを決めて市民をまちなかに呼び込むとともに、ハピリンのイベントや周辺商業者とも連携したことで、多くの来場者とエリア内の回遊性向上につながりました。また、今年度は路面電車を走行させながらの開催としたことで、通常の歩行者天国とは違った福井独自の個性的なイベントとなりました。</p> <p>まちなか活性化交流イベントについては、相談件数が21件あったものの、補助要件に合致しないことや冬場の悪天候が続いたことなどもあり、補助金を利用したイベント実施件数は6件に留まりました。来年度は、補助制度の利用の呼びかけを継続するとともに、より利用しやすい制度へ見直しを行うなど、まちなかで気軽にイベントが実施できるよう努めます。また、新たにアップロードなどのまちなかの公共空間を活用した賑わいづくり事業を展開し、官民が一体となったまちなかの賑わいづくりと回遊性の向上を進めていきます。</p>		

8	新リノベーションによるまちづくりの推進	達成度	
---	----------------------------	-----	---

実 行 内 容

目 標	老朽化した遊休不動産を有効活用し、地域の価値向上を図るリノベーションによるまちづくりを推進するため、その担い手を育成するセミナーの開催と、市街地中心部における賑わいの拠点となるリノベーションに取り組む出店者を支援します。
------------	--

取 組 内 容	<p>リノベーションスクール事前セミナーの開催（8/9）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容：(株)オープン・エー代表取締役 馬場正尊氏による講演 講演後、県内での取組や今後の展開についてディスカッション ・ 参加者：建築業、金融業、行政、学生など 109 人 <p>第3回リノベーションスクール@福井の開催（9/22～24）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容：2件の遊休不動産を対象に、まちなか再生の事業計画を策定 ・ 参加者：受講生、建築業、金融業、行政、学生など 394 人 <p>空き店舗ツアーの実施（10/9）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容：中心市街地の個性ある空き店舗を見学するツアーを実施（案内物件：11件） ・ 参加者：自営業、調理師、主婦、会社員など 14 人 <p>がんばるリノベ応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リノベーションにより出店を検討している事業者から相談が 15 件 ・ 出店支援を認定したものは以下の 2 件 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 25%;">店 名</th> <th style="width: 20%;">所 在</th> <th style="width: 50%;">用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>Nitowol (ニトワール)</td> <td>中央 3 丁目</td> <td>カジュアルレストラン、レンタルスペース</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>canvas (キャンパス)</td> <td>中央 1 丁目</td> <td>中古アウトドア用品買取販売店、コワーキングスペース</td> </tr> </tbody> </table>		店 名	所 在	用 途	1	Nitowol (ニトワール)	中央 3 丁目	カジュアルレストラン、レンタルスペース	2	canvas (キャンパス)	中央 1 丁目	中古アウトドア用品買取販売店、コワーキングスペース
	店 名	所 在	用 途										
1	Nitowol (ニトワール)	中央 3 丁目	カジュアルレストラン、レンタルスペース										
2	canvas (キャンパス)	中央 1 丁目	中古アウトドア用品買取販売店、コワーキングスペース										

数 値 指 標

目 標	結 果 ・ 成 果
遊休不動産の有効活用セミナー等の参加者及び見学者数： 500 人	遊休不動産の有効活用セミナー等の参加者及び見学者数： 517 人
リノベーション物件への出店支援件数： 3 件	リノベーション物件への出店支援件数： 2 件

成 果 ・ 課 題	<p>リノベーションスクールでは、まちづくりに関心がある多くの方が参加し、老朽化した遊休不動産の有効活用や地域の価値向上などにつながるリノベーションについて意識の醸成を図りました。その結果、リノベーションスクールで提案された 2 案件については、現在、事業化に向け進行中であり、来年度もサポートしていきます。</p> <p>がんばるリノベ応援事業については、出店希望者と物件オーナー双方の相談を密に行ってまいりましたが、事業の採算性が合わずに断念したことや、資金調達、事業協力者の調整に時間を要したことで年度内に事業計画の具体化に至らなかったことから、地域の活性化や新たな魅力の創出につながる出店支援の認定は、目標を下回る 2 件となりました。</p> <p>今後は、来年度スタートするリノベーションネットワーク（不動産所有者や地域住民などで構成）と連携しながら、担い手の発掘・育成や事業へのサポート、不動産所有者の意識改革を図ります。また、その取組を支援することで、地域に貢献する出店につなげていきます。</p>
------------------	---

・ U・Iターン 就職の促進や就労機会の創出を図るとともに、仕事と家庭が両立できる雇用環境づくりを推進します

9	U・Iターン就職の促進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>学生向けの事業として、合同企業説明会のほか、市内企業で働く魅力について考える「ふくいU・Iターンサマーキャンプ」や経営者との座談会を開催します。また、保護者からの情報提供や意見が、学生の就職活動に与える影響が大きいことから、保護者を対象とした就活応援セミナーや相談会を開催します。</p> <p>社会人向けの事業として、移住希望家族を対象に、企業訪問や移住者との交流会などを組み合わせたツアーを新規に開催します。また、U・Iターン者を雇用する企業に対し雇用奨励金を支給し、U・Iターン就職を促進します。</p> <p>「おしごとネット」やツイッターによって情報発信するほか、東京事務所に新たに配置したU・Iターンアドバイザーの活用やハローワークなど県外の関係機関との連携により、事業の広報や参加者募集を行います。</p>		
取 組 内 容	<p>学生向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内：合同企業説明会・面接会の開催（4月、7月、12月、3月） ・ 県外：合同企業説明会の開催（3月 京都、名古屋、東京、大阪） ・ ふくいU・Iターンサマーキャンプの開催（8/27-9/1 5泊6日） ・ 企業訪問ツアーの開催（1/5） ・ 地元企業魅力発見セミナーの開催（経営者との座談会）（2/16） <p>保護者向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者個別就活相談会の開催（5月、7月、9月、11月、3月 5回開催） ・ 保護者セミナーの開催（1/25） <p>社会人向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人U・Iターン就職支援ツアーの開催（7月、8月、9月、11月、12月、1月、3月 8回開催） ・ U・Iターン就職者正規雇用奨励金 交付件数 12件 <p>就職支援及び人材育成に関する協定締結（1/24）1件</p> <p>「おしごとネット」による情報発信及び東京事務所U・Iターンアドバイザーによる周知広報</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>U・Iターン就職促進事業を利用して就職した学生及び社会人の数</p> <p>： 13人(28年度) 60人(29年度)</p>		<p>U・Iターン就職促進事業を利用して就職した学生及び社会人の数： 49人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>学生や保護者を対象とした事業に加え、新たに社会人を対象とした事業にも取り組みましたが、目標を達成することはできませんでした。</p> <p>県外に進学した学生のUターン就職率が約30%、県内の大学に通う学生の県内就職率でさえ約45%であるのに対し、市主催の事業に参加した学生の県内企業への就職率は60%を超えています。また、社会人については、個別のニーズに応じ、きめ細かく対応した結果、就職決定者の全員が市内企業への就職となるなど、事業の有効性が確認できました。</p> <p>U・Iターン就職促進事業は、事業への参加年度と就職年度が異なるためすぐに成果が表れないことや、U・Iターン就職を希望する県外在住の人に事業案内などの情報が届きにくく参加が少人数に留まったことが未達成の要因となっています。</p> <p>このことから、継続して事業に取り組み、多くの人に参加していただくことでより大きな成果につながると考えています。</p> <p>来年度は、参加者の増加に向けて募集広報を強化するため、「ふくいおしごとネット」のリニューアル、インターネット広告の導入、県外大学との就職支援協定の活用積極的に取り組みます。</p>		

10	就労機会の創出	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>若年無業者を対象とした相談会を開催し、若者の就労を支援します。また、国のトライアル雇用やキャリアアップ助成金（正社員化コース）を活用し、若者を継続して正規雇用する中小企業に対し、奨励金等を支給し若年者の雇用の安定化に取り組みます。</p> <p>キャリアアップを目指す女性を対象とした就職支援セミナーや、ハローワーク福井のマザーズコーナーと連携したミニ面接会を開催します。</p> <p>福井市シルバー人材センターの事業運営を補助し、高齢者の就労及び社会参画を支援します。</p>		
取 組 内 容	<p>若年無業者向け相談会の開催（11/16、1/18、3/8 3回開催）</p> <p>若年者正規雇用奨励金</p> <p>キャリアアップ助成金</p> <p>就職支援セミナーの開催（10月、1月）</p> <p>マザーズコーナー（ハローワーク）におけるミニ面接会の開催（5/26、1/26 2回開催）</p> <p>シルバー人材センターへの支援</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
就職支援事業を利用して就職した若者及び女性の数 : 54人（28年度） 110人（29年度）		就職支援事業を利用して就職した若者及び女性の数 : 110人	
シルバー人材センター会員の就業率 : 77.0%（28年度） 78.0%（29年度）		シルバー人材センター会員の就業率 : 78.0%	
成 果 ・ 課 題	<p>非正規雇用労働者を正規雇用労働者へと転換するキャリアアップ助成金の利用が大幅に伸び、多くの若者を正規雇用へ転換できました。また、若年無業者向け相談会や就職支援セミナーを開催し、事業終了後も相談やアドバイスのほか、ハローワーク福井が開催するミニ面接会の案内など、継続的なアフターフォローにより就職につなげました。これらの結果、若者及び女性の就職者は目標を達成することができました。</p> <p>人手不足を背景に企業の採用が堅調ではあるものの、労働者のうち4割程度は非正規雇用労働者が占めています。正規雇用への転換は、職場での処遇改善とともに、長期雇用と賃金上昇による将来の安定した生活につながる重要なものです。引き続き、関係機関と連携しながら更なる正規雇用化を推進します。</p> <p>また、シルバー人材センターへの支援を行い、積極的に入会を促進し多様な就業機会を提供した結果、目標の就業率を達成しました。高齢者の活躍が期待される今、シルバー人材センターと協力し、更なる就業率の向上を目指します。</p>		

11	ワークライフバランスの推進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	ワークライフバランスを推進するため、労働時間の縮減や柔軟な働き方の導入、育児休業や介護休業の取得促進、イクボスの養成など、職場環境の改善に取り組む市内中小企業等に対して補助します。また、育児や介護を理由とした離職を防ぐため、短時間勤務制度等の利用や代替要員の配置を始めで行った企業に対して支援します。		
取 組 内 容	キラリ輝く職場環境づくり推進事業補助金 5件 育児応援企業養成奨励金 10件 目指せ介護離職ゼロ推進奨励金 0件 雇用管理セミナーの開催 (1/25) 参加企業数 20社 中小企業雇用促進相談員による企業訪問での周知 訪問件数 357社 社会保険労務士会及び税理士会会員に対する周知 6、8月実施 おしごとネット登録企業に対する周知 9、1月実施 中小企業雇用促進相談員による中小企業関連団体への訪問による周知 3月 働き方改革関連セミナー等での周知 10、12月実施		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
ワークライフバランス推進事業による支援企業数 : 22件(28年度) 35件(29年度)		ワークライフバランス推進事業による支援企業数 : 35件	
成 果 ・ 課 題	育児・介護と仕事の両立支援など、ワークライフバランスの推進に取り組んだ企業に対して支援を行いました。また、地方創生に関する包括連携協定を締結するあいおいニッセイ同和損害保険(株)と雇用管理セミナーを共催し、社員にいきいきと働き続けてもらうための職場環境改善のポイントなどを市内企業の事例を交えて紹介しました。その結果、ワークライフバランスの推進に取り組む企業への支援件数は目標を達成しました。 職場環境の整備には事業主の理解がたいへん重要であることから、来年度も引き続き雇用管理セミナーの開催や中小企業雇用促進相談員による企業訪問をはじめ、事業主に対する意識啓発を積極的に行うことで、働きやすい職場環境の整備に取り組む企業をさらに増やしていきます。		

・公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

12	競輪事業の継続	達成度	
実行内容			
目 標	<p>F ナイター場外発売を拡充し、ナイター開催場との関係を深めるとともに、新たに専門官を配置し、職員が一丸となって全国の競輪施行者への営業強化を図り、福井競輪開催時の車券売上額の向上と収益を確保します。</p> <p>また、競輪場への来場を促進するため、ショッピングセンターへの出向宣伝や各種イベントを実施し、新規ファンとリピーターの獲得に取り組みます。</p> <p>継続する中央スタンド棟耐震補強工事については、7月に開催する記念競輪「不死鳥杯」のリニューアルオープンに向けて、安全・着実に工事を進めます。</p>		
	取 組 内 容	<p>【新規顧客獲得の取り組み】</p> <p>初心者教室/4月8日(土)/福井競輪場/16人参加</p> <p>ふくいおとな博(競輪ブース)/5月27日(土)・28日(日)/県産業会館</p> <ul style="list-style-type: none"> 競輪場で利用できる車券引き換え券(500円)を120人へ配布(結果:50人来場) 不死鳥杯関係出向宣伝 7月8日(土)にベル、9日(日)にパリオでチラシと車券引換券(500円)を各100人へ配布(結果:30人来場)。7月10日に福井駅前でチラシ付きお菓子を500人へ配布し宣伝。 <p>電話投票者向けキャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 10,000円キャッシュバック(計144人) キャンペーン期間内の上位高額車券購入者5人に特産品(越前ガニ極)をプレゼント <p>結果:最高購入者約70万円</p> <p>第8回YOSAKOIケイリン杯/3月18日(日)/福井競輪場</p> <ul style="list-style-type: none"> よさこいケイリン杯参加者を対象に初心者教室 大雪の影響により中止 <p>その他取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ファミチャリフェスタ/10月22日(日)自転車初乗教室 参加対象:小学校低学年等 大雨の影響により中止 <p>【競輪開催業務】</p> <p>本場開催(福井市主催) 46日</p> <ul style="list-style-type: none"> 開設67周年記念「不死鳥杯」(G) 7月22日(土)~7月25日(火) 車券売上額 約5,087,000千円(目標5,500,000千円)/収益 約310,000千円 F ナイター場外発売を12回開催 車券売上額 約126,975千円 <p>場外開催 318日/(うち本場併売27日含む)</p> <p>【中央スタンド棟耐震補強工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事完了日 7月14日 	
		数 値	指 標
	<p>F ナイター場外発売に係る車券売上額</p> <p>: 33,700千円(28年度) 110,000千円(29年度)</p> <p>中央スタンド棟耐震補強工事完了: 7月</p>		<p>F ナイター場外発売に係る車券売上額</p> <p>: 126,975千円</p> <p>中央スタンド棟耐震補強工事完了: 7月</p>
成 果 ・ 課 題	<p>今年度からF ナイター場外発売を拡充した結果、車券売上合計額は126,975千円となり、目標額を達成しました。</p> <p>また、中央スタンドの耐震補強工事については、7月14日に完成し、記念競輪「不死鳥杯」において披露しました。安全性が向上したほか車椅子専用席等を設ける等バリアフリー機能も強化しており、積極的にアピールして来場促進を図っていきます。</p> <p>さらに、来年度から収益性の低いF 開催の一部をミッドナイト借上げ開催に切り替え、収益向上を図るとともに新たな顧客の獲得を目指します。</p>		

・()食や自然・歴史など福井らしさで観光客を増やします

13	観光産業の振興	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>観光産業の振興を図るため、福井市観光振興計画に基づき関係部局が連携して取り組むとともに、福井市観光振興計画推進委員会を引き続き開催し、計画の進行管理を行います。</p> <p>また、将来のリピーターにつながる教育旅行や学生合宿の受入、コンベンションなどM I C E 誘致を積極的に推進し、新たな観光需要の掘り起こしを行います。</p> <p>特に、平成 31 年度に開催予定の第 32 回宇宙技術及び科学の国際シンポジウム(I S T S)については、県と連携し準備を進めていきます。</p> <p>さらに、福井国体や東京オリンピック、北陸新幹線福井開業に向け、市内での宿泊や滞在時間の延長につながる体験交流型観光メニューの充実に取り組み、観光消費の拡大を促進します。</p>		
取 組 内 容	<p>福井市観光振興計画推進委員会(7月24日、9月29日)</p> <p>教育旅行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道上砂川中学校(25人)来訪(5月9日~5月11日) ・北陸3県修学旅行フェア(商談会)参加(8月3日 東京) <p>体験交流型観光メニュー造成に向けた研修会の開催(11月14日、2月28日、3月8日、17日)</p> <p>主なコンベンション関係の会議及び誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県コンベンション誘致促進会議(7月5日) ・コンベンション市町連絡会議(10月3日、3月20日) ・誘致活動(首都圏訪問:10月、関西・中京訪問:11月、首都圏訪問:1月) <p style="text-align: center;">国際ミーティングエキスポ:2月)</p> <p>I S T S 企画準備委員会(6月19日、11月14日、3月19日)</p> <p>学生合宿補助件数 合宿申請団体数 267件 延べ人数 14,436人 (地域交流活動申請団体数 210件 延べ人数 8,985人)</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>福井市観光振興計画推進委員会の開催 : 2回(7月・9月)</p> <p>市内宿泊者数 : 72万人(28年) 74万人(29年)</p> <p>市内コンベンション開催件数 : 110件(28年度) 130件(29年度)</p> <p>市内観光消費額 : 265億円(28年) 270億円(29年)</p> <p>体験交流型観光メニュー数 : 20個</p>		<p>福井市観光振興計画推進委員会の開催 : 2回(7月・9月)</p> <p>市内宿泊者数: 71万人</p> <p>市内コンベンション開催件数 : 110件</p> <p>市内観光消費額 : 260億円</p> <p>体験交流型観光メニュー数 : 20個(うち越前海岸5個)</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>福井市観光振興計画については、推進委員会を2回開催し、計画の進行管理を行いました。</p> <p>コンベンションについては、県内外の主催団体、旅行会社、大学等への営業活動を行い、来年度以降に開催されるコンベンションの誘致につなげましたが、今年度の開催件数の大幅な改善にはつながらず、目標を達成できませんでした。</p> <p>県や他市町と31年度からの開催助成金の拡充について協議を進めてきましたが、今後は31年度以降のコンベンション誘致拡大に向け、拡充される開催助成金制度を積極的にPRするとともに、営業活動を強化するため、組織体制の見直しを検討します。</p> <p>また、31年度に開催予定のI S T Sに向けて、県と連携し、実施に向けた事業を計画しました。</p> <p>体験交流型観光メニュー数は目標を達成しましたが、北陸新幹線金沢開業効果が落ち着き、市内観光客入込数が減少したことに伴い、市内宿泊者数、市内観光消費額ともに昨年実績を下回りました。</p> <p>今後は、観光客入込数増加のための各種施策実施と並行して、体験交流型観光メニューの更なる充実に取り組むことで、市内宿泊者数、市内観光消費額の拡大を目指します。</p>		

14	「一乗谷」への観光誘客と一乗谷朝倉氏遺跡の環境整備	達成度	
実行内容			
目標	<p>日本で唯一、戦国期の城下町跡がそのまま残る日本最大の中世都市遺跡「一乗谷朝倉氏遺跡」のイメージアップを図るため、一乗谷ディスカバリープロジェクトのメンバーによる情報発信を進めます。</p> <p>また、時代衣装を身に着けたパフォーマーによるガイドや着付け体験などを実施するとともに、「越前朝倉戦国まつり」や「越前朝倉万灯夜」を始めとする地域が主体となっていく事業を支援し、一乗谷朝倉氏遺跡の活用推進と観光誘客を図ります。</p> <p>さらに、遺跡へのアクセスを充実させるために、一乗谷朝倉特急バスを継続して通年運行し、永平寺町との連携を図りながら、日本一の戦国城下町のフィールドミュージアムを目指してエリア全体の魅力向上に取り組みます。</p> <p>併せて特別史跡の保存・管理と環境整備を行うとともに、地権者及び関係機関と協議し史跡範囲の公有化を進めます。</p>		
取組内容	<p>時代衣装着付け体験サービス利用者数 971人 一乗谷朝倉特急バス利用者 9,943人 「一乗谷朝倉氏遺跡バーチャルガイド」利用者 716件 越前朝倉系桜まつり開催 4月8日 入込数 3,500人 越前朝倉曲水の宴 5月5日 入込数 4,500人 越前朝倉戦国まつり・越前朝倉万灯夜開催 8月19日・8月20日 入込数 40,000人 戦国城下町生活再現事業 9月16日～10月15日(土日祝のみ) 朝倉氏遺跡活用推進協議会 朝倉トレイルラン2017 9月17日 参加者数 380人 観光おもてなし事業 10月(7回) ・時代衣装パフォーマー撮影会、空中物見台の設置 一乗谷・東郷魅力体感ツアー(まち歩き)の開催(7回) 復原町並武家屋敷修理工事 8月 史跡公有化の実施 ・地権者との売買契約締結、市への所有権移転登記完了 2月</p>		
数値指標			
目標		結果・成果	
<p>時代衣装着付け体験サービス利用者数 : 1,316人(28年度) 1,350人(29年度) 一乗谷観光客入込数 : 90万人(28年) 110万人(29年) 復原町並武家屋敷修理工事完了 史跡公有化(計5筆)完了</p>		<p>時代衣装着付け体験サービス利用者数 : 971人 一乗谷観光客入込数 : 80万人 復原町並武家屋敷修理工事完了 : 8月 史跡公有化(計5筆)完了 : 2月</p>	
成果・課題	<p>一乗谷観光客入込数については、北陸新幹線金沢開業の効果が落ち着いてきたこと、平成29年が白山開山1300年にあたる年であったため福井エリアの送客が白山平泉寺にシフトしたこと、秋の行楽シーズンに台風21号が直撃したことなどにより、前年より減少しました。また、観光客入込数の減少に伴い、時代衣装着付け体験サービス利用者数も減少しました。来年度以降は、福井国体・障スポ大会の期間中に観光おもてなし事業を充実させ、着付け体験サービス利用者数の増加を図ります。</p> <p>また、「福井・永平寺周遊滞在型観光推進計画」に基づく遺跡のライトアップ事業やまち歩きなどの充実に取り組むとともに、旅行会社への営業や商談会、北陸新幹線沿線都市での出向宣伝等で一乗谷の魅力を積極的にPRすることで、旅行商品造成や観光誘客につなげていきます。</p> <p>なお、JR福井駅から一乗谷朝倉氏遺跡への二次交通の充実を図るため、一乗谷朝倉特急バスを継続して通年運行します。</p> <p>史跡の環境整備については、復原町並武家屋敷の修理を8月に、史跡公有化を2月に完了しました。引き続き適切な環境整備に努めます。</p>		

15	「まちなか」への観光誘客	達成度																																																																					
実 行 内 容																																																																							
目 標	<p>一年を通してまちなかの観光誘客を図るため、春には「ふくい春まつり」、夏には「福井フェニックスまつり」、また、春と秋の愛宕坂灯の回廊やイルミネーションなど、季節ごとのイベント等を開催してまちなかの賑わいを創出するとともに、福井の魅力を体感できるまち歩きガイドツアーを実施します。</p> <p>また、福井駅を基点にまちなかの観光地を巡る「まちなか観光周遊バス」を、観光に適した春から秋にかけて運行し、足羽山やグリフィス記念館、養浩館庭園等を結ぶことで、まちなかの周遊を促進します。</p> <p>さらに、足羽山の新鮮な情報をホームページで発信し、双方向で交流できるSNSを活用しながら、市民と協働して足羽山の魅力を向上します。</p>																																																																						
取 組 内 容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>ふくい春まつり</td> <td>3月25日～4月24日</td> <td>入込数</td> <td>244,000人</td> </tr> <tr> <td>・越前時代行列</td> <td>4月15日</td> <td>入込数</td> <td>130,000人</td> </tr> <tr> <td>・ハピリン一周年記念スペシャルパレード</td> <td>4月23日</td> <td>入込数</td> <td>80,000人</td> </tr> <tr> <td>足羽川桜並木ライトアップ</td> <td>3月25日～4月16日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まち歩きガイドツアーの実施</td> <td>10回(4月、11月、3月)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>愛宕坂灯の回廊(春)</td> <td>3月25日～4月9日</td> <td>入込数</td> <td>4,011人</td> </tr> <tr> <td>(秋)</td> <td>10月7日～10月9日</td> <td>入込数</td> <td>1,541人</td> </tr> <tr> <td>ふくいまちなか観光周遊バス運行</td> <td>4月30日～11月26日(土日祝日に1日9便運行)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・7月22日(土)～8月27日(日)の期間は1日13便に増便、こども(小学生以下)運賃無料。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バス車体のラッピングを行い、市内文化施設の特別展と連動(7月15日(土)～10月1日(日))</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>福井フェニックスまつり</td> <td>8月4日～8月6日</td> <td>入込数</td> <td>142,900人</td> </tr> <tr> <td>足羽山イベント開催</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・足羽山フォトコンテスト</td> <td>4月1日～4月30日</td> <td>146件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・足羽山アソブN i g h t</td> <td>8月13日</td> <td>入込数</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>・足羽山アソブL A N D</td> <td>11月4日</td> <td>入込数</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>・足羽山アソブセッション</td> <td>3月21日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬のイルミネーション(グリフィス記念館、中央公園、ハピリンなど9カ所)</td> <td>11月2日～1月3日</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			ふくい春まつり	3月25日～4月24日	入込数	244,000人	・越前時代行列	4月15日	入込数	130,000人	・ハピリン一周年記念スペシャルパレード	4月23日	入込数	80,000人	足羽川桜並木ライトアップ	3月25日～4月16日			まち歩きガイドツアーの実施	10回(4月、11月、3月)			愛宕坂灯の回廊(春)	3月25日～4月9日	入込数	4,011人	(秋)	10月7日～10月9日	入込数	1,541人	ふくいまちなか観光周遊バス運行	4月30日～11月26日(土日祝日に1日9便運行)			・7月22日(土)～8月27日(日)の期間は1日13便に増便、こども(小学生以下)運賃無料。				・バス車体のラッピングを行い、市内文化施設の特別展と連動(7月15日(土)～10月1日(日))				福井フェニックスまつり	8月4日～8月6日	入込数	142,900人	足羽山イベント開催				・足羽山フォトコンテスト	4月1日～4月30日	146件		・足羽山アソブN i g h t	8月13日	入込数	400人	・足羽山アソブL A N D	11月4日	入込数	100人	・足羽山アソブセッション	3月21日			冬のイルミネーション(グリフィス記念館、中央公園、ハピリンなど9カ所)	11月2日～1月3日		
ふくい春まつり	3月25日～4月24日	入込数	244,000人																																																																				
・越前時代行列	4月15日	入込数	130,000人																																																																				
・ハピリン一周年記念スペシャルパレード	4月23日	入込数	80,000人																																																																				
足羽川桜並木ライトアップ	3月25日～4月16日																																																																						
まち歩きガイドツアーの実施	10回(4月、11月、3月)																																																																						
愛宕坂灯の回廊(春)	3月25日～4月9日	入込数	4,011人																																																																				
(秋)	10月7日～10月9日	入込数	1,541人																																																																				
ふくいまちなか観光周遊バス運行	4月30日～11月26日(土日祝日に1日9便運行)																																																																						
・7月22日(土)～8月27日(日)の期間は1日13便に増便、こども(小学生以下)運賃無料。																																																																							
・バス車体のラッピングを行い、市内文化施設の特別展と連動(7月15日(土)～10月1日(日))																																																																							
福井フェニックスまつり	8月4日～8月6日	入込数	142,900人																																																																				
足羽山イベント開催																																																																							
・足羽山フォトコンテスト	4月1日～4月30日	146件																																																																					
・足羽山アソブN i g h t	8月13日	入込数	400人																																																																				
・足羽山アソブL A N D	11月4日	入込数	100人																																																																				
・足羽山アソブセッション	3月21日																																																																						
冬のイルミネーション(グリフィス記念館、中央公園、ハピリンなど9カ所)	11月2日～1月3日																																																																						
数 値 指 標																																																																							
目 標		結 果 ・ 成 果																																																																					
まちなか観光客入込数 : 157万人(28年) 159万人(29年)		まちなか観光客入込数 : 153万人																																																																					
観光案内所案内人数 : 67,301人(28年度) 70,000人(29年度)		観光案内所案内人数 : 72,780人																																																																					
成 果 ・ 課 題	<p>まちなか観光客入込数については、「ふくい春まつり」「福井フェニックスまつり」「愛宕坂灯の回廊」など季節ごとのイベント開催、「足羽山アソブN i g h t」など市民協働による新たなイベントの開催、まち歩きガイドツアーの実施、旅行会社による新たなツアーの造成などにより、まちなかへの誘客に努めましたが、北陸新幹線金沢開業やハピリン開業の効果が落ち着いてきたことと、秋の行楽シーズンに台風21号が直撃したことにより、桜の開花時期以外の入込数が伸びず、まちなか観光客入込数は28年を下回りました。</p> <p>なお、まちなかの観光地を周遊する「まちなか観光周遊バス」については、ラッピングや市内文化施設の特別展との連動により、平均乗車人数が28年を上回りましたが、更なる利用者の増加に努めます。</p> <p>観光案内所は、壁面へのiマーク掲出や駅構内の案内看板設置により視認性が高まったことで、28年度を上回る観光客が訪れました。今後とも、より丁寧で質の高い観光案内を目指していきます。</p> <p>来年度は幕末明治福井150年博、福井国体・障スポ大会、足羽山遊園地リニューアルオープンなど、各種イベントが控えています。全国から多くの方の本市への来訪が見込まれるため、観光案内所や各観光施設と連携して、これまで以上にまちなかの魅力をPRし、観光誘客につなげます。</p>																																																																						

16	「越前海岸」への観光誘客	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>福井が全国に誇る「越前がに」や、透明度が高い海の海水浴等のイメージポスターを、北陸新幹線沿線の駅や中京圏の高速道路サービスエリアに掲出するとともに、海開きにあわせて集客イベントを実施することで、越前海岸への誘客につなげます。</p>		
	<p>また、地域で観光のまちづくりに取り組む団体や若者等を支援し、連携していくとともに、自然あふれる越前海岸ならではの体験観光メニューの造成に取り組みます。</p> <p>さらに、リニューアルオープンするガラガラ山越前水仙の里キャンプ場をPRすることで、一年を通じた越前海岸への誘客を図ります。</p>		
取 組 内 容	<p>鷹巣海水浴場誘客イベント実施（ハマグリを放流し、ハマグリ採りを楽しむイベント） 7月10日～8月20日 入込数 48,305人</p> <p>鷹巣観光地引網 3月～8月末 6回実施 420人参加</p> <p>越前海岸盛り上げ隊 体験交流型観光メニューの造成及びイベント実施、SNSを活用した情報発信</p> <p>越前海岸海水浴ポスター・リーフレット掲出 （ポスター掲出：JR長野駅、名古屋市営地下鉄 7月19日～8月1日） リーフレット配布：JR上野駅 6月17日～6月18日）</p> <p>越前海岸への観光誘客に関する福井大学との共同研究（5月～） 福井市観光プレミアム「福井DEフェア（東京）」で越前がにのPR 9月29日 ポスター・パンフレットの掲出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前がにポスター掲出（掲出駅：JR大宮駅） 11月 ・高速SA、市内宿泊施設、観光地にパンフレット設置 <p>出向宣伝などでの営業等（東京、茨城、美濃、長野、大宮、熊本） 越前海岸への観光誘客に関する福井大学との共同研究（～12月） 水仙まつり（12月16日～1月22日：福井会場1月14日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市、越前町、南越前町の3市町による合同出向宣伝（東京、大阪、名古屋、岐阜） ・ポスター・パンフレットの掲出 		
	数 値 指 標		
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>越前海岸の体験交流型観光メニュー数： 5個</p> <p>越前海岸観光客入込数 ： 48万人（28年） 53万人（29年）</p>		<p>越前海岸の体験交流型観光メニュー数： 5個</p> <p>越前海岸観光客入込数 ： 46万人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>越前海岸観光客入込数のうち、鷹巣海水浴場入込数については、海水浴客向けの誘客イベントが県外でも認知されており、イベント期間中の海水浴客数は昨年に比べ増加しましたが、近年の海水浴離れや8月の台風5号などの影響もあり、越前海岸全体の海水浴客数は減少しました。</p>		
	<p>また、今年度から越前海岸観光連盟に加盟して、水仙まつりを福井市、越前町、南越前町の3市町連携して実施し、越前海岸一体となって首都圏等でのPRにも取り組みました。</p> <p>さらに、ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場が4月にリニューアルオープンしたことや、越前海岸盛り上げ隊が越前海岸ならではの素材を活かした地引網体験やたこご漁、ナイト・シュノーケル等の体験イベントを開催したことで新たな観光需要の掘り起こしにつながっていますが、越前海岸全体では目標達成には至りませんでした。</p> <p>来年度は、鷹巣海水浴場でのイベントを継続するとともに、越前海岸盛り上げ隊と連携した体験交流型観光メニューの充実にも取り組みます。</p> <p>あわせて、越前海岸の更なる認知度向上を図るため、プロモーション動画やポスターを作成し、首都圏でのPRや旅行会社への営業や出向宣伝等に活用していきます。</p>		

・() 福井の魅力を磨き、市民や観光客が福井の魅力にふれる機会を増やします

17	おもてなしの心の醸成	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>本市を訪れる多くの観光客が「再び訪れたい」と思うような観光のまちづくりを進めるため、ホスピタリティの醸成や観光関連事業者等の資質向上など、観光客を温かく親切に迎える「観光おもてなし市民運動」を市民総ぐるみで進めます。</p> <p>また、おもてなしに関する講習会や研修会を継続して開催するとともに、おもてなし運動推進の牽引役となるおもてなしの達人「おもてなしマイスター」のレベルアップを図ります。</p> <p>さらに、歴史ボランティアバンク「語り部」の活動を支援するとともに、新たなガイドルートを開発し、観光商談会等で旅行商品としてPRするなど、市民や観光客が名所・旧跡に気軽に触れ歴史を学ぶ機会を増やします。</p>		
取 組 内 容	<p>おもてなしの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光おもてなし市民運動推進会議の開催 : 5月16日 ・おもてなし講習会の開催(プレ国体ボランティア) : 7月2日、8月19日(1日2回 計4回 301人受講) ・観光おもてなしマイスタースキルアップ研修の開催 : 7月2日、8月19日 ・タクシー乗務員おもてなし接客術研修 : 7月18日(2回 17社から70人受講) ・観光おもてなし研修(観光地を積極的にPRできる職員の育成 4年目職員) : 7月19日 34人 ・観光おもてなしマイスター認定研修 : 12月19日 34人 ・観光おもてなしマイスター認定試験 : 2月1日 32人受験(20人認定) ・おもてなし接客術研修(一般向け)の開催:2月20日 17人 ・観光おもてなし市民運動推進大会の開催 : 3月11日 <p>歴史ボランティアバンク「語り部」の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り部研修の開催 : まち歩き23回、座学15回 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>福井市を訪れて良かったと感じた人の割合</p> <p>: 88.8%(28年度) 90.0%(29年度)</p> <p>「語り部」による案内人数</p> <p>: 9,746人(28年度) 11,100人(29年度)</p>		<p>福井市を訪れて良かったと感じた人の割合</p> <p>: 92.4%</p> <p>「語り部」による案内人数</p> <p>: 11,100人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>おもてなしの心の醸成としては、プレ国体のボランティア従事者を対象におもてなし講習会を実施し、300人を超える方が受講しました。また、福井を訪れた人が最初に接する機会の多いタクシー乗務員の接客力向上のため、市内全てのタクシー会社の参加のもと、県タクシー協会と連携した研修会を実施しました。</p> <p>「観光おもてなし体験だより」で寄せられるご意見のうち、福井市を訪れて良かったと感じた人の割合は9割を超えました。今後も、福井国体・障スポ大会に向けて、国体ボランティアや交通事業者を対象とした講習会や研修会により、市民のおもてなしのレベルアップを図っていきます。また、市民運動の牽引役となる「おもてなしマイスター」のレベルアップ研修も継続します。</p> <p>さらに、観光おもてなし市民運動推進大会を実施し、まごころのこもったおもてなし事例の表彰や、おもてなしに造詣の深い講師の基調講演により、観光おもてなし市民運動の更なる浸透を図ります。</p> <p>「語り部」については、市内外で認知度が向上し、ツアーや講座への講師依頼が増加しました。研修機会の提供など、今後も活動支援を継続することでガイドの質を向上させ、市民や観光客が、気軽に名所・旧跡などの歴史に触れる機会を増やしていきます。</p>		

18	観光施設の整備	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>足羽川桜並木などの観光地の美化や、観光トイレ等の施設を安全・快適に利用してもらうための維持管理に努めます。併せて、観光トイレの洋式化を進めます。</p> <p>また、老朽化した美山森林温泉みらくる亭について、一乗谷や永平寺に近く、森林に囲まれたロケーションを活かして、ユニバーサルデザインに配慮した大規模改修の基本計画を策定します。</p>		
取 組 内 容	<p>足羽川堤防桜並木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルノコシカケ除去、調査及びカルテ作成、延命保全対応 ・3月 剪定作業 <p>観光トイレ洋式化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月 2カ所実施（越廼海水浴場便所南、越廼海水浴場便所北） <p>美山森林温泉みらくる亭大規模改修基本計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 公募開始（プロポーザル方式） ・7月 応募者プレゼンテーション及び審査委員会 ・8月 契約締結 ・10月 中間報告 ・3月 大規模改修基本計画策定 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>観光トイレの整備： 2カ所</p> <p>美山森林温泉みらくる亭大規模改修基本計画策定</p>		<p>観光トイレの整備： 2カ所</p> <p>美山森林温泉みらくる亭大規模改修基本計画策定 ： 平成30年3月末</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>足羽川堤防の桜並木について、ふくい桜守の会と連携しながら付着したサルノコシカケを除去するとともに、樹木医の指導のもと健康状態を調査し、カルテの作成を行いました。また、10月の台風21号や2月の大雪により、倒木等の被害を受けたことから、今後の強風対策と延命のため剪定作業を実施しました。来年度は、今回の調査結果を踏まえ、外科処置及び防腐処置を実施します。</p> <p>また、観光客の利便向上のため、海水浴客で賑わう越廼海水浴場の観光トイレの洋式化に取り組みました。</p> <p>美山森林温泉みらくる亭については、大規模改修にかかる基本計画を策定しました。来年度は、計画に基づき基本設計・実施設計を行い、31年度から改修工事に取りかかります。また、指定管理期間を1年間延長し、来年度に実施される福井国体・障スポ大会の宿泊需要に応えます。</p>		

.() 様々なツールによる情報発信を行い、福井の知名度やイメージの向上に努めます

19	観光情報の発信	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>観光パンフレット、ホームページ、テレビや新聞等の情報発信に加え、首都圏や北陸新幹線沿線などの駅や高速道路サービスエリアにポスターを掲出します。</p> <p>また、フェイスブックでの情報発信、フィルムコミッション事業などを通してふくいの魅力発信を行います。</p> <p>県外での出向宣伝については、首都圏からの観光誘客を図るため、東京事務所と連携しニーズの把握や情報発信を強化するとともに、旅行会社や出版社への旬な情報の発信や、福井市観光大使や福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」の積極的な活用により、本市のイメージアップを図ります。</p>		
取 組 内 容	<p>観光パンフレット増刷 ポスター・パンフレット掲出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月 越前海岸ポスター作成・掲出（掲出駅：JR長野駅、名古屋市営地下鉄） 11月 越前がにポスター掲出（掲出駅：JR大宮駅） ・ 観光パンフレット設置：観光案内所、市内宿泊施設、市内観光地、高速 SA 高速 SA 掲出力所：養老 SA 下り、多賀 SA 上り、賤ヶ岳 SA 下り、長良川 SA 下り、三木 SA 下り <p>「FUKUI CITY 2018 CALENDAR」製作・配布 第 69 回全国カレンダー展：日本製紙連合会賞・銀賞 フェイスブックなど 「いごこち満点！ふくい」「朝倉ゆめまる」の運用 フィルムコミッション 問合せ 51 件、撮影実績 19 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国ふるさと甲子園への参加（8月 25 日～27 日）：映画「チアダン」と福井の厚揚げを PR ・ 映画「ローカル線ガールズ」制作支援 <p>出向宣伝、旅行会社や出版社への営業、商談会への参加 204 回（東京、大阪、名古屋など） 出向宣伝：ふくい桜まつり、一乗谷の PR 等（東京、茨城、熊本、長野、美濃、大宮、鎌倉、京都） 福井 DE ナイト（ファミツアー）の実施 第 1 回：7 月 10 日～11 日、第 2 回：3 月 福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」の活用 出動件数 147 件（2 月 27 日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ゆるキャラグランプリ 2017 in 三重桑名・ナガシマリゾート」（11 月 18 日～19 日） 最終結果 8 位（1,158 体中）272,855 p t ・ イベント出演 春まつり、ハピリンで開催のイベント、ジャパンエキスポ、県立恐竜博物館、朝倉トレイルラン、西武ハロウィンパレード、イルミネーションライトアップ点灯式、こしの水仙まつりなど 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>観光関連新聞記事の掲載面積</p> <p>： 56,929 cm²（28 年度） 60,000 cm²（29 年度）</p> <p>出向宣伝や旅行会社への営業、商談会への参加</p> <p>： 185 回（28 年度） 190 回（29 年度）</p> <p>朝倉ゆめまるフェイスブックでの情報発信回数</p> <p>： 150 回（28 年度） 160 回（29 年度）</p>	<p>観光関連新聞記事の掲載面積</p> <p>： 62,425 cm²</p> <p>出向宣伝や旅行会社への営業、商談会への参加</p> <p>： 204 回</p> <p>朝倉ゆめまるフェイスブックでの情報発信回数</p> <p>： 188 回</p>		
成 果 ・ 課 題	<p>観光情報の発信としては、福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」が「ゆるキャラグランプリ 2017」で初の一桁台となる 8 位を獲得し、本市のイメージ向上に大きく貢献しました。各種イベント出演や企業訪問に加え、ジャパンエキスポ・パリへの参加で世界進出も果たすなど、福井市宣伝隊長としての活動の場を飛躍的に広げました。</p> <p>また、「FUKUI CITY 2018 CALENDAR」が、第 69 回全国カレンダー展で日本製紙連合会賞及び銀賞を受賞しました。</p> <p>さらに、一年を通して報道機関に向けたプレスリリースを積極的に行ったことで、新聞記事の掲載面積が拡大しました。そのほか、旅行会社や出版社への営業、ファミツアーの実施、県外への出向宣伝、観光関連施設へのパンフレット設置、フェイスブックなど、さまざまな機会を捉えて福井の魅力発信に努め、雑誌等への掲載や旅行商品造成につなげました。</p> <p>来年度は、幕末明治福井 150 年博や福井国体・障スポ大会の開催に向け、関係部署との連携を強めるとともに、観光客や旅行会社などに向けた情報発信にさらに積極的に取り組んでいきます。</p>		

.() 多文化共生の地域づくりに取り組むとともに、インバウンド誘客の強化を図るための環境を整備し情報発信を進めます

20	国際交流の活用と多文化共生のまちづくり	達成度	
実 行 内 容			
目 標	市やふくい市民国際交流協会が行う福井市国際文化交流大使（FCA）やボランティアを活用した異文化に対する理解を深める事業を通して、市民の意識を醸成し、日本人市民も外国人市民も安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを進めます。		
取 組 内 容	<p>福井市国際文化交流大使（FCA）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FCAを小学校、公立保育園、幼稚園等へ派遣、フェイスブックでの市の魅力情報発信（通年） ・フラトン市からFCAを1人採用（8月） <p>杭州市ジュニア大使を受入れ（7月）</p> <p>福井市多文化共生推進プラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市防災訓練への外国人参加促進 松本地区、湊地区、社北地区で実施（6月） ・災害時多言語支援研修会を開催（8月） <p>ニューブランズウィック市姉妹都市 35周年記念事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政訪問団・市民訪問団を派遣（10月） ・ニューブランズウィック市長訪問団を受入（11月） <p>グローバルフェスタ（多文化祭）開催（10月）</p> <p>市職員を対象に多文化共生に関する研修を実施（1月）</p> <p>杭州市及び水原市へジュニア大使を派遣（3月）</p>		
数 値 指 標			
目 標	結 果 ・ 成 果		
<p>市及びふくい市民国際交流協会が実施する国際交流事業等への市民の参加者数</p> <p>： 4,354人（28年度） 4,500人（29年度）</p> <p>内訳</p> <p>国際交流・多文化共生事業の参加者数</p> <p>： 3,658人（28年） 3,750人（29年度）</p> <p>ジュニア大使派遣・受入事業の参加者数</p> <p>： 696人（28年） 750人（29年度）</p>	<p>市及びふくい市民国際交流協会が実施する国際交流事業等への市民の参加者数</p> <p>： 5,980人</p> <p>内訳</p> <p>国際交流・多文化共生事業の参加者数</p> <p>： 5,183人</p> <p>ジュニア大使派遣・受入事業の参加者数</p> <p>： 797人</p>		
成 果 ・ 課 題	<p>国際交流事業等への市民の参加者数等については、目標を達成いたしました。</p> <p>平成29年度は、ニューブランズウィック市との姉妹都市提携35周年に当たり、行政訪問団や市民訪問団の相互派遣を実施しました。両市の交流を通して、さらに絆を深くし、次世代へとつながるものとなりました。</p> <p>多文化共生事業として、「グローバルフェスタ」をハピテラスで実施しました。駅に隣接する立地の良さもあり、普段、国際事業に参加していない広い世代の多くの方に多文化共生を啓発することができました。</p> <p>今年度から、FCAを公立保育園や公立幼稚園等に加え、新たに私立幼稚園へも派遣することで、幼少期から異文化に触れる機会を増やし、小学校からはじまる多文化教育や、英語教育に対応できる子どもたちを育成する第一歩につながりました。</p> <p>ジュニア大使派遣事業については、国際情勢が緊迫するなか、安全面に万全の注意を払い、韓国水原市、中国杭州市に中学生を派遣し、学校訪問や市民との交流を実施しました。</p> <p>国家間の問題が、姉妹友好都市交流事業の実施に影響を及ぼすことが課題となりますが、国と国との関係が複雑な時こそ、これまで長期にわたり培ってきた姉妹友好都市間の交流が重要となってくるため、今後も国際情勢を注視しながら、行政間交流を実施するとともに、青少年交流やふくい市民国際交流協会が実施する市民活動を支援していきます。</p>		

21	インバウンド誘客の強化	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>外国人観光客を本市に呼び込むため、親日家の多い台湾やタイを対象に営業活動を行うとともに、タイに向けたメディアや観光情報冊子を活用した情報発信を行い誘客に努めます。</p> <p>特に、タイや台湾からの訪日旅行について、日本でコーディネートを行う観光事業者やインバウンド関連メディア等を対象とした現地視察ツアーを実施します。</p> <p>また、タイにおいてテレビ番組の制作を行うことで、直接、現地の旅行者や消費者へ福井の魅力を発信します。</p> <p>さらに、ヨーロッパ圏からの誘客に向けて、パリで開催されるジャパンエキスポに本市PRブースを初出展するとともに、新たにクレアパリ事務所へ派遣した職員と連携して営業活動を行います。</p> <p>併せて、今後、さらに増加する外国人観光客に対応するため、通訳ボランティアを育成します</p>		
取 組 内 容	<p>台湾誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市観光・物産展 in 台湾、台北・台中市内旅行会社営業 6 社（7 月 19 日、7 月 21 日～23 日） ・台北国際旅行博出展、台北市旅行会社等営業（10 月 26 日～28 日）（県観光連盟と連携） <p>タイ誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイTV番組「SUGOI JAPAN」番組制作、放送（6 月 18 日、25 日）Youtube 配信（6 月～） ・タイH.I.S WAKUWAKU Guide Book 記事掲載、配布（7 月末～） ・タイ国際旅行博出展、バンコク市内旅行会社営業 4 社（8 月 9 日～13 日）（県と連携） <p>ヨーロッパ圏誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンエキスポ・パリ出展、パリ市内旅行会社営業 6 社（7 月 6 日～11 日） <p>通訳ボランティアスキルアップ研修（7 月～ 3 月 全 5 回）</p> <p>欧州都市交流会議（10 月 17 日）</p> <p>多言語対応ボランティア育成事業（10 月～3 月 全 4 回）</p> <p>ランドオペレーター・現地メディア招へいファムツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾関係者向け 1 月 17 日～19 日 ・タイ関係者向け 1 月 24 日～26 日 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>外国人宿泊者数（市調査：21 施設） ：8,400 人（28 年） 13,000 人（29 年）</p> <p>ヨーロッパ圏都市交流事業の実施</p> <p>欧州でのイベントにブースを出展： 7 月</p> <p>通訳ボランティア育成事業の参加者数： 150 人</p>		<p>外国人宿泊者数（市調査：32 施設） ： 15,800 人</p> <p>ヨーロッパ圏都市交流事業の実施</p> <p>欧州でのイベントにブースを出展： 7 月</p> <p>通訳ボランティア育成事業の参加者数： 156 人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>インバウンドについては、台湾とタイをターゲットに、旅行博やイベントでのPR、営業活動を行いました。特に、タイからの誘客に向けては、現地で放送されるテレビ番組制作や、訪日旅行を計画している方向けのパンフレットへの情報掲載を行うなど、福井の知名度向上に取り組みました。</p> <p>併せて、台湾やタイからの訪日旅行を日本でコーディネートする観光事業者や、現地メディアの方を招へいするファムツアーを実施し、情報発信や旅行商品造成につなげる働きかけを行いました。</p> <p>また、今年度からは、新たにフランスをターゲットに加え、ジャパンエキスポ・パリへの出展や現地旅行会社へ営業活動を行い、福井の観光地や伝統工芸などを紹介しました。</p> <p>さらに、ふくい市民国際交流協会、行政通訳員、FCAと連携して、多言語対応ボランティアを育成し、受入態勢の強化を図りました。</p> <p>来年度についても、現地の旅行博への出展や旅行会社への営業活動を行うとともに、WEBでの旅行情報収集が主流となっている現状を踏まえ、現地でよく利用されている観光情報サイトでの情報発信を行い、本市の知名度向上や誘客につなげます。</p>		

()文化芸術活動を支援するとともに、文化や歴史、自然を活用した観光誘客を進めます

22	文化芸術活動の交流促進と文化会館の再整備	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>子どもから大人まで身近に文化芸術に触れ、創作活動に参加できるよう、舞台芸術の鑑賞や体験する機会の充実を図るとともに、福井市文化協会が主催する市民文化祭の開催や各種文化団体の活動を支援し、市民の文化活動の交流と文化芸術に出会い親しめる機会を増やします。 また、文化芸術活動の拠点施設である文化会館の再整備に向け基本計画を策定します。</p>		
	取 組 内 容	<p>文化活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・第28回童謡の日さわやかコンサートの実施(7月) 来場者：約1,100人 ・文化協会企画事業「絵画教室 養浩館庭園を描く」の開催支援 <ul style="list-style-type: none"> 小4~中3対象(7月) 参加者：9人 大人対象(8月) 参加者：16人 ・文化協会企画事業「子どもお茶席体験講座」の開催支援(10月) 参加者：48人 ・文化協会主催の市民文化祭を支援(11月) 参加者：6,356人 ・文化奨励賞授与式を開催(11月) 受賞者：2人 ・文化芸術・科学技術大会出場者激励金の交付 18件 <p>文化会館整備基本計画 <ul style="list-style-type: none"> ・福井市文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会の開催(5月、6月、10月、11月、1月) ・福井市文化会館を考えるワークショップの開催(4月、5月、6月、10月) ・民間活力導入可能性調査(12月~3月) ・福井市文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会より基本計画の答申(1月22日) ・文化会館整備基本計画(素案)の決定(1月) ・パブリック・コメントの実施(2月14日~3月7日) ・文化会館整備基本計画の策定(3月) </p> </p>	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
市民文化祭参加者数 : 6,161人(28年度) 7,100人(29年度)		市民文化祭参加者数 : 6,356人	
文化会館利用者数 : 104,091人(28年度) 104,500人(29年度)		文化会館利用者数 : 80,173人	
文化会館整備基本計画の策定		文化会館整備基本計画の策定 : 3月	
成 果 ・ 課 題	<p>市民文化祭については、新たな取組として、書道や絵画の子ども展示コーナーを設けるとともに、近隣の公民館においてもPRを強化した結果、前年度より入場者が増えましたが、目標値には届きませんでした。来年度は、人気が高い体験コーナーの充実を図り、子ども展示コーナーを継続して設置するとともに、市内小中学校に加えて近隣地区や他の市町へのチラシ配布など広報を強化し、参加者増に努めます。</p>		
	<p>文化会館の利用者数については、隣接していた市民福祉会館の閉館により両館一体での利用が出来なくなったことや、解体工事に伴う騒音や振動を懸念しての予約の減少、さらに大雪による予約キャンセルなどにより、目標値を達成できませんでした。工事が30年9月末まで続くことから、関係部署及び工事業者との連絡を密にし、利用者への説明を一層丁寧に行うとともに、指定管理者による自主事業の充実を図ります。</p> <p>文化会館整備基本計画については、文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会を5回、市民参加のワークショップを4回開催、その後、素案を取りまとめパブリック・コメントを実施し、3月に計画を策定しました。来年度は、新文化会館整備における民間活力(PFI)導入の適否を判断し、整備手法を検討します。</p>		

23	まちなか文化施設の魅力向上と情報発信	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>養浩館庭園では、名勝庭園の歴史的価値を後世に継承するため、保存活用計画に基づいた管理運営を行うとともに、受付棟を改修し来園者の利便性を向上します。加えて、御茶席や聞香会、伝統文化をテーマとした体験事業や、気軽に名勝庭園でくつろぐための庭カフェ開設など、庭園の魅力を活かした事業を実施して観光誘客を図ります。</p> <p>橘曙覧記念文学館と愛宕坂茶道美術館では、大政奉還 150 周年を記念した橘曙覧や松平春嶽、橋本左内等、幕末を生きた偉人を紹介する特別展や、ゆかりの地をめぐるガイドツアー、幕末明治の福井をテーマにした歴史講座等を開催し、福井の魅力を発信します。</p> <p>グリフィス記念館では、「グリフィス御伽噺」の和訳や絵本作成を行うとともに、これらを活用した朗読会を開催するなど、グリフィスの魅力を知ってもらう事業を実施して観光誘客を図ります。</p>		
取 組 内 容	<p>養浩館庭園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春・秋のお茶席(4~5月、9~11月 29日間 参加者:1,632人) ・特別茶会(5月27日、6月25日、7月16日、9月9・23・30日、12月10日 参加者:136人) ・特設茶席/旅行会社企画ツアー等(参加者:274人(2月末)) ・秋のライトアップ(9月29日~11月26日の金土日祝・祝前日 入園者:892人) ・庭カフェ(10月2日~11月30日の平日 36日間 参加者:1,291人) ・受付棟庇改修工事(10月16日~1月26日) <p>○橘曙覧記念文学館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「大政奉還と橘曙覧」(6月11日~9月24日 観覧者:1,700人) ・特別展「幕末名言録」(10月3日~11月27日 観覧者:1,769人) ・「橘曙覧史跡めぐり」(10月15日 参加者:33人) ・企画展「発見!曙覧の書」(12月1日~3月1日 観覧者:780人) ・企画展「作家の猫」(3月5日~5月下旬 観覧者:718人(3月末)) <p>○愛宕坂茶道美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展「和ガラス展」(平成29年3月1日~6月4日 観覧者:4,610人(愛) 5,009人(橘)) ・企画展「いとうつくし香合展」(6月10日~9月24日 観覧者:1,700人) ・企画展「懐石のうつわ」(10月1日~12月13日 観覧者:1,168人) ・企画展「禅僧の書画」(10月1日~12月13日 観覧者:593人) ・特別展「Love 志野」(3月2日~4月22日 観覧者:790人(3月末)) <p>○グリフィス記念館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽会(4月1・2・8・9日、7月22日、12月23日 参加者:1,034人) ・朗読会(7月6・8・9日、10月9日 参加者:174人) ・グリフィス科学実験教室(10月14・15日、11月18日 参加者:310人) ・「グリフィス御伽噺」絵本刊行(3月) <p>○その他 幕末明治の福井をテーマにした歴史講座(12月2日 於:商工会議所 参加者:350人)</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
文化施設入場者数 : 312人(28年度) 113,190人(29年度) 養浩館庭園受付棟庇改修工事		文化施設入場者数 : 96,094人 養浩館庭園受付棟庇改修工事の完了: 1月	
成 果 ・ 課 題	<p>文化施設4カ所の入場者数は計96,094人で、養浩館庭園の観光バスでの団体客の減少や、紅葉シーズンの天候不良などにより、前年度と比較し15%減となりました。</p> <p>来年度は、幕末明治福井150年博に合わせた記念事業や各施設の魅力を活かした事業を実施するとともに、旅行会社等へ文化施設や各種イベント等を巡る観光ルートを提案するなど、PRを強化することで団体客等の誘致を図ります。</p> <p>さらに、グリフィス記念館では、新たに化学遺産に認定されたグリフィスの講義録「化学筆記」に関する展示を行うとともに、記念撮影会等での利用促進を図ります。</p> <p>また、養浩館庭園では、入場者の利便性向上を図るため受付棟庇を改修しました。</p>		

24	美術館企画展等の開催	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>世代を超えて気軽に芸術に親しめるよう、分野・時代・地域など美術の多様性を活かし、開館 20 周年と高田博厚没後 30 年を記念した魅力ある企画展を開催します。学生や事業主などの広報対象に合わせ、テレビ・SNS・チラシなどの広報媒体を適切に選択し、各企画展の効果的な情報発信を行います。</p> <p>また、企画展に関連したアトリエ講座などを開催して、美術を身近に感じる体験が楽しめる機会を提供します。</p> <p>さらに、本市の美術文化の向上を図るため、第 30 回を記念する「市美展ふくい」の開催や展示室等の貸出を行い、市民が芸術活動を発表できる機会を提供します。</p>		
	取 組 内 容	<p>「版画にみる美しき時代 ヘル・ポツ展」 2,097 人 6月3日～7月9日 32日間開催 「フィンランド・デザイン展」 14,145 人 7月22日～9月3日 39日間開催 「没後 30 年記念 高田博厚展」 1,052 人 9月16日～11月5日 44日間開催 「ワード・ゴールの優雅な秘密展」 5,116 人 平成 30 年 2 月 17 日～3 月 25 日 31 日間開催</p> <p>子どもアトリエ 9 講座開催 4月23日 6月18日 7月30日 8月19日・20日 9月9日・10日 10月15日 11月3日 12月3日 3月4日</p> <p>市民アトリエ 9 講座開催 4月29日 6月17日 7月23日 8月27日 9月24日 10月7日・8日 10月22日 12月9日・10日 3月10日・17日</p> <p>第 30 回市美展ふくい 5 月 19 日～28 日 3,435 人 10 日間開催</p>	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
成 果 ・ 課 題	<p>企画展では、作品に触れられる体感コーナーの設置、民間ショップと連携したワークショップや民間団体との朗読劇の開催などで話題をつくり、前年度と比較して県外からの来場者割合は高くなりましたが、目標の入場者数には届きませんでした。その要因は、展覧会タイトルが具体性に欠けその内容を想起しにくかったこと、興味を惹き高い集客力のあるものではなかったこと、広報の対象が絞り込めなかったことなどであり、このような反省を踏まえて企画展内容を精査し新たな取組を進めていきます。</p> <p>アトリエでは「ミニ四駆をつくろう」等の大変好評な講座が多数あり、市美展ふくいでは 30 回記念として新たに「小さな作品」を公募するなどして、ともに目標を達成しました。</p> <p>年間総入館者数は、下半期に「子ども美術館」や「アート・デ・コンカツ」など各種イベントを集中的に開催するとともに、施設貸し出しなど積極的に利用者促進を図るなど、入館者数の増加に努めました。企画展入場者数の減が大きく影響し、目標を達成することはできませんでした。</p> <p>来年度は、企画展ごとに、「宇宙」、「旅」、「自然」、「人」という戦略ワードを設定して、各内容を明確にイメージさせ、高い関心を惹き寄せる展覧会といたします。また、内容に応じて自然史博物館などの市文化施設等と緊密に連携し、自然写真の展示やプラネタリウム作りのアトリエ講座、アニメソングのコンサートなどの各種イベントを充実させるほか、音声や映像による高田博厚ガイドを新設するとともに、旅行業者に団体旅行商品としての周遊プランの提案や、当館の特徴である黒川紀章の建物見学ツアー等にも取り組むことで、域外からの来館者増を目指します。</p>		
	<p>企画展入場者数 : 39,425 人(28 年度) 63,000 人(29 年度)</p> <p>子どもアトリエ開催数 : 9 講座 市民アトリエ開催数 : 9 講座 市美展ふくい開催 : 5 月 総入館者数 : 71,933 人(28 年度) 95,000 人(29 年度)</p>	<p>企画展入場者数 : 22,410 人</p> <p>子どもアトリエ開催数 : 9 講座 市民アトリエ開催数 : 9 講座 市美展ふくい開催 : 5 月 総入館者数 : 67,532 人</p>	

25	郷土歴史博物館企画展等の開催	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>郷土の歴史・文化への誇りを育み発信できるよう、文献・考古・美術史という様々な分野から地域の歴史・文化に関わりの深いテーマを厳選し、魅力ある企画展を開催します。また、SNSの特性を活用した広報に努め、企画展の魅力を広く発信します。</p> <p>教育普及活動の充実にも努め、福井の歴史を楽しく学ぶ機会を提供するとともに、養浩館庭園と連携してまちなか観光の推進につなげます。</p>		
	取 組 内 容	<p>春季特別展「刀に彫る - 刀身彫刻の世界 - 」 7,236人 3月24日～5月7日 45日間開催 内、29年度 5,798人 37日間開催</p> <p>夏季特別陳列「お殿様のおくりもの」 2,948人 7月21日～8月27日 38日間開催</p> <p>秋季特別展「さよなら、江戸幕府 - 大政奉還と幕末の二条城 - 」 13,557人 10月13日～11月26日 41日間開催</p> <p>春季特別展「江戸・京・大坂と城下町福井」 平成30年3月24日～5月6日 44日間開催 内、29年度 1,479人 8日間開催</p> <p>ギャラリートーク 32回（刀に彫る4回、お殿様のおくりもの3回、さよなら、江戸幕府7回、江戸・京・大坂と城下町福井1回、松平史料展示室17回）</p> <p>資料審査委員会（平成30年3月16日） 資料審査件数331点</p> <p>ワークショップ らくらく子ども博物館（春休み、夏休み、冬休みの計28回）、夏休み歴史体験教室（16回開催） 三角縁神獸鏡チョコ作りワークショップ（5回開催）、へんしん越前屋（土・日・祝と春休み、夏休み、冬休み）</p> <p>講座等 館長タイムリー講座（2回開催）、ミュージアムカレッジ（9回開催）、企画展関連講座・イベント（15回開催）</p>	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>企画展入場者数 ： 22,855人（28年度） 24,600人（29年度）</p> <p>特別展・企画展ギャラリートークの回数 ： 28回（28年度） 30回（29年度）</p> <p>総入館者数 ： 79,254人（28年度） 79,500人（29年度）</p> <p>収蔵資料数 ： 40,653点（28年度） 40,700点（29年度）</p>		<p>企画展入場者数 ： 23,782人</p> <p>特別展・企画展ギャラリートークの回数 ： 32回</p> <p>総入館者数 ： 72,227人</p> <p>収蔵資料数 ： 40,984点</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>特別展・企画展のギャラリートークの回数と収蔵資料数は、目標を超える成果となりました。</p> <p>一方、企画展入場者数と総入館者数は、上半期は前年度を上回るペースで進捗し目標を達成できる見通しでしたが、2月の大雪など例年より寒気の強かった気候の影響により入館者が大きく減少したことで目標を達成できませんでした。</p> <p>企画展入場者数については、目標は達成できなかったものの、22都市が参加した大政奉還150周年記念プロジェクトに参加し全国から人が訪れたことや、昨今注目度の高い刀剣や新資料を展示したことで、前年度の実績を上回ることが出来ました。</p> <p>来年度は、周年関連の展示や講座のほか、来館者の減少する冬季にも特に市民の関心が高い武具の展示を行うとともに情報発信に努め、多くの人に見学してもらえるよう取り組みます。</p>		

26	自然史博物館企画展等の開催とセーレンプラネットの運営	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>郷土の豊かな自然や、広大で未知な宇宙・天文について興味深く学べる機会を提供し、自然科学への関心を高めてもらえるよう、魅力ある企画展を開催します。</p> <p>また、子どもたちには、企業訪問などで自然科学が社会に貢献していることを伝えるキャリア教育の機会を提供します。</p> <p>自然史博物館では、足羽山を訪れる人々の満足度を高めるため、足羽山のビジターセンターとしての機能強化や眺望の良い白山テラスの活用、バリアフリー等の計画・設計を進めます。</p> <p>セーレンプラネットでは、ドームシアターなどの様々なイベントの開催や、ハピリンと周辺施設、交通事業者等と連携を進めることで、中心市街地のにぎわい創出につなげます。</p>		
取 組 内 容	<p>企画展の開催（本館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蝶と蛾と とってもステキな自然のデザイン（3月18日～5月28日） ・吉澤特別館長の足羽山フォト歳時記～冬から夏の記～（7月1日～8月27日） ・夜空を彩るスペーストラベラー 彗星ってどんな星（7月15日～10月1日） ・美しき霊峰・白山～吉澤特別館長の写真展～（10月7日～11月30日） ・吉澤特別館長の足羽山フォト歳時記～夏から秋の記～（10月7日～11月30日） ・高浜の化石 - 1600 万年の時を越えた大地の語り部 -（平成30年3月17日～5月20日） <p>企画展の開催（セーレンプラネット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SETEIってなあに？ 地球外生命探査（3月15日～5月8日） ・太陽～その素顔に魅せられて（7月20日～10月2日） ・福井を愛した星博士 天文学者・藤田良雄（11月26日～平成30年2月12日） <p>企業訪問「福井のものづくりの最先端に触れよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サカセ・アドテック㈱（8月1日）、セーレン㈱（8月18日）、県工業技術センター（10月13日）、バックヤードツアー（11月3日、12月3日、9日、23日）、福井県立大学（3月27日） 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
自然史博物館入場者数	： 18,713 人(28年度) 26,000 人(29年度)	自然史博物館入場者数	： 20,491 人
セーレンプラネット入場者数	： 126,350 人(28年度) 127,000 人(29年度)	セーレンプラネット入場者数	： 95,126 人
企画展入場者数	： 20,922 人(28年度) 21,000 人(29年度)	企画展入場者数	： 25,281 人
産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数	： 44 人(28年度) 100 人(29年度)	産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数	： 108 人
成 果 ・ 課 題	<p>自然史博物館入場者数は、白山開山1300年記念「美しき霊峰・白山」や「足羽山フォト歳時記～夏から秋の記～」などの写真展が好評だったこともあり、通年で前年度入場者数を上回りましたが目標は達成できませんでした。</p> <p>来年度は、市民の関心が高い企画を実施し、利用促進につながる効果の高かったテレビでの広報をはじめ、様々な媒体を利用して情報発信に努めていきます。</p> <p>セーレンプラネット入場者数は、指定管理者と連携して市内小中学校への学習利用の働きかけや市外の教育委員会への広報活動などに取り組んだ結果、9～12月の入場者数は前年同月比で約20%増加しました。しかし、大雪だった1～2月に利用者が大幅に減少したことなどもあり、目標は達成できませんでした。来年度は、教育委員会と連携し、校外学習のモデルケースとして中学校の能楽鑑賞会とセットで鑑賞してもらうなど学習団体利用の促進に努めていきます。併せて、積極的に旅行事業者への営業を図り、団体旅行に組み込まれるよう努めます。</p> <p>企画展入場者数は、本館、分館の特別展、企画展が好評だったこともあり、目標を達成しました。</p> <p>産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数は、博物館の収蔵品などを見学する「バックヤードツアー」企画が好評で前年度参加者数を大幅に上回り目標を達成しました。</p>		

27	観光と文化の連携強化	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>地域に埋もれている特色ある歴史・文化資源等を、観光資源として活用するモニターツアーを実施します。</p> <p>また、博物館等の情報発信を強化するため、各施設のイベントを集約した博物館だよりを発行します。</p> <p>さらに、市内 11 の施設に入館、入園できる共通観覧券の周知に努めるとともに、リニューアルした歴史・文化資源を紹介するホームページや観光 P R のツールを活用し、観光客の利便性の向上と誘客を図ります。</p> <p>加えて、大政奉還 150 周年記念展や出張博物館など、各施設合同による体験連携事業を実施します。</p>		
取 組 内 容	<p>ユニークベニューの試行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養浩館庭園で「和食の粋と名勝庭園の宴」実施（4月9日） ・養浩館庭園で「児童図書館研究会全国学習会」実施（3月18日） <p>郷土歴史博物館特別展「さよなら江戸幕府」（10月開催）を県外の旅行会社へ P R（4、5月）</p> <p>郷土歴史博物館特別展「江戸・京・大坂と城下町福井」、橘曙覧記念文学館企画展「作家と猫」（3月開催）を県外の観光出向宣伝で P R（3月）</p> <p>高速道路サービスエリアに企画展のチラシを配架（4、5月）</p> <p>モニターツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「泰澄大師ゆかりの地と福井の秘仏を巡る」実施（4月22日 参加者:25人） ・「海の見える社寺を訪ねる」実施（6月11日 参加者:22人） <p>博物館だより（ふくミューだより）第1号（7月6日）第2号（9月25日）第3号（11月21日）第4号（2月19日）各2,500部（第4号のみ3,500部）発行</p> <p>共通観覧券（ふくミューパス）のチラシ、ポスターを宿泊施設、公共交通機関等に配架（4～6月）</p> <p>各施設合同による体験連携事業「ミュージアムコーポレーション事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武福井店での出張博物館「親子でミュージアム」（6月4日 参加者：203人） ・夜の昆虫採集や星空観察など、昼では見られない一乗谷の魅力を紹介する、「一乗谷ミステリーナイト～もうひとつの一乗谷～」（7月21日 参加者：30人） ・グリフィス記念館・自然史博物館連携企画「昆虫の世界」（10月8日 参加者：20人） ・郷土歴史博物館・橘曙覧記念文学館連携企画「幕末まち歩き」（10月21日、11月18日 参加者：24人） <p>旅行ガイドブックに養浩館庭園の広告を掲載（9月）</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園などの市内の文化財を紹介する多言語対応 V T R（日本語・英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語）公開（3月末）</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>歴史・文化資源を活かしたモニターツアーの実施 博物館だより（仮称）の作成： 4回 体験連携事業「ミュージアムコーポレーション事業」 の実施</p>		<p>歴史・文化資源を活かしたモニターツアーの実施 ふくミューだよりの作成： 4回 体験連携事業「ミュージアムコーポレーション事業」 の実施</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>歴史・文化資源を活かしたモニターツアーを2回実施しました。また、博物館等の企画展やイベントなどの情報を集約した「ふくミューだより」を発行し、文化施設合同による「親子でミュージアム」などの体験連携事業を4回実施しました。</p> <p>そのほか、市内 11 の文化施設に入館、入園できるふくミューパスの利用を4月から開始し、その周知のために市内宿泊施設や公共交通機関等へポスターやチラシを配架しました。</p> <p>さらに、県外の旅行会社に郷土歴史博物館特別展などを P Rするとともに、旅行ガイドブックやタウン情報誌に養浩館庭園の広告等を掲載しました。</p> <p>来年度は、一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園など市内の文化財を紹介する多言語対応 V T R を活用し、国内外へ福井の魅力を発信するとともに、体験連携事業等を継続して実施します。また、旅行代理店のツアー企画でのふくミューパス活用を提案し、利用拡大と観光誘客を図ります。</p>		